SONY

4-111-611-**01**(1)

ウォータープルーフケース
Waterproof Case
Boîtier étanche
防水套装
Aqty pack™

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi
Manual de instrucciones
Gebruiksaanwijzing
Bedienungsanleitung
Bruksanvisning
Istruzioni per l'uso
Manual de instruções
Инструкция по эксплуатации
使用説明書
使用说明书
사용설명서
تعليمات التشغيل

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 注意

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

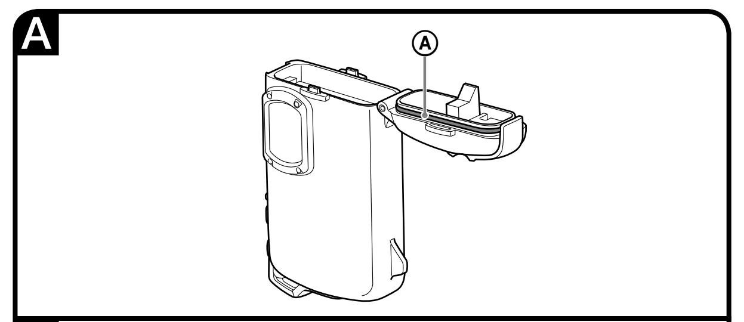
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

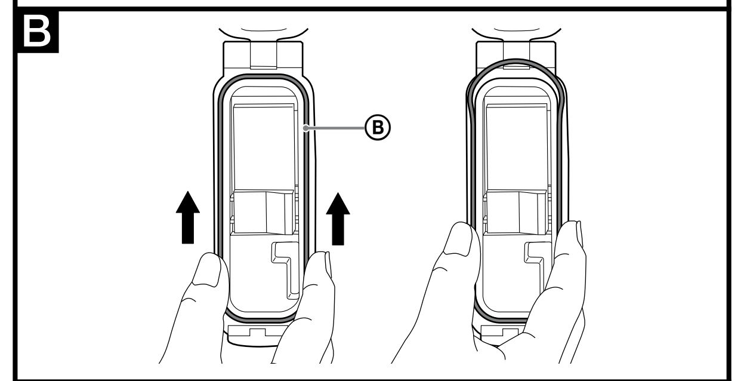
APK-THA

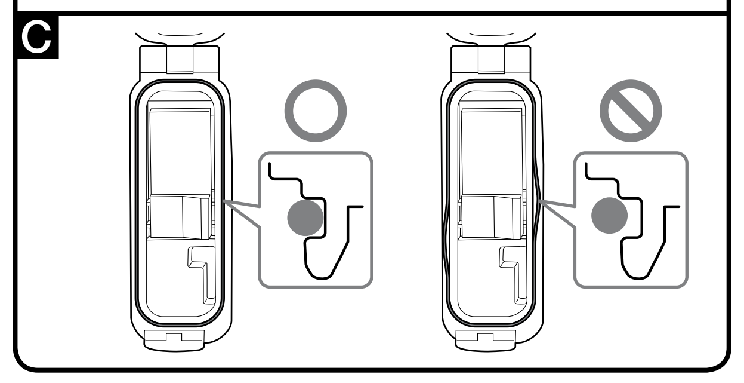
© 2008 Sony Corporation Printed in Japan

http://www.sony.net/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.







日本語

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談をする**

変な音やにおいがしたら、煙が出たら
➊ **電源を切る**
➋ **ソニーの相談窓口に相談をする**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号 禁止
行為を指示する記号 注意

⚠ 注意 **下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。**

衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。 禁止

取り扱い上の注意

- ケースの前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 水辺や水上でのケースの開閉は避けてください。デジタルスチルカメラの取り付けや"メモリースティック デュオ"の交換などは、湿気の少ない室内で行ってください。
- ケースを水中に投げ込まないでください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40 ℃を越える温水の中
  - 0 ℃以下の場所

  結露や水漏れは、デジタルスチルカメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35 ℃を超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- デジタルスチルカメラを出し入れする際は、落下しないように充分ご注意ください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- ケースに長時間収納して使用していると、デジタルスチルカメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、デジタルスチルカメラをケースから取り出してください。
- 水深1.5 mより深い場所で使用しないでください。

ケースにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、ケース表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

水漏れについて

万一ケース内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。

デジタルスチルカメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

Oリングの取り扱いかた

Oリングとは?

Oリング Ⓐを使ってケースなどの機器の防水性を保ちます。（イラスト A 参照）

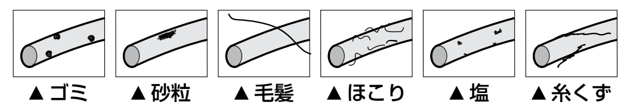
Oリングのメンテナンスは非常に重要です。正しく取り扱わないと、水漏れの原因になります。

Oリングの取り扱いかた

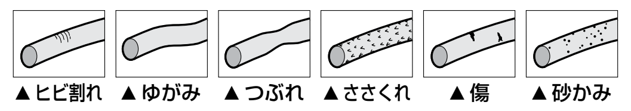
Oリングを取り付ける

Oリングの取り付けは、砂やほこりのない場所で行ってください。

1. **Oリング Ⓑを取りはずす（イラスト B 参照）**
   - Oリングを取りはずすときは、図のようにOリングを軽く押さえつけながら、矢印の方向にずらしてください。Oリングにたるみができますので、簡単に取りはずすことができます。
     Oリングを取りはずす際、爪によってOリングを傷つけないようご注意ください。
   - 先のとがったものや金属などは、ケースの溝やOリングに傷をつける恐れがありますので、使用しないでください。
2. **Oリングを点検する**
   - 以下の点を充分確認して、柔らかい布かティッシュペーパーで必ず取り除いてください。
     - ゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないか
     - 古いグリスが残っていないか

   - 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先で触って点検してください。
   - Oリングを拭き取る際、布やティッシュペーパーの繊維が残らないように気をつけてください。
   - Oリングにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどがないか確認し、ある場合は必ず交換してください。

3. **Oリングの溝を点検する**
   砂粒や乾いて固まった塩が入りこんでいる場合があるので、エアースプレーで吹き飛ばしたり、綿棒を使って、丁寧に取り除いてください。綿棒の糸くずがはいらないように、ご注意ください。
4. **Oリングの反対側の接触面も同様に点検する**
5. **Oリングを溝に取り付ける**
   以下の点に注意して、Oリングを溝に均等に入れてください。
   - Oリングにゴミなどが付着していないか
   - Oリングがねじれていないか（イラスト C 参照）

水漏れの確認方法

ご使用の機器を収納する前に、ケースを閉じて、水中（約15 cm）に約3分間沈めて、水漏れがないことを確認してください。

お手入れ

Oリングの溝に海水が入ったまま乾燥してしまうと、塩の結晶ができてしまい、Oリングの機能を損なう恐れがあります。

Oリングの耐用年数

ケースの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。傷やヒビがなくても変形や摩擦により、防水機能は落ちてきます。ヒビ割れやゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどの症状がでたら、新しいものと交換してください。
交換後に、水漏れしないことを確認してください。

くもり止めリキッドについて

ケース前部のガラス面に付属のくもり止めリキッドを塗布すると、くもり止め防止に効果があります。

- くもり止めリキッドの使用方法
  フロントガラスのガラス面の内側を、クリーナー液をしめらせたコットン、柔らかい布、ティッシュペーパー等で均等に拭いてください。

Oリング、くもり止めリキッドのお問い合わせ（ご購入について）

ソニーの相談窓口にご相談ください。
Oリング（番号4-116-279-01）
くもり止めリキッド（番号3-072-039-01）

お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、カバーを開ける前に真水（水道水）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- ケース内部は乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れはケースご使用のたびに必ず行ってください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

- Oリングの劣化を防ぐため、カバーを閉めないでください。
- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

□ ケース内部に水滴がつく
  → Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
  → Oリングを正しく装着する。
  → カバーをカチッとロックされるまで閉める。
□ 撮影ができない
  → バッテリーを充分に充電する。
  → "メモリースティック デュオ"の残量がない場合、別の"メモリースティック デュオ"を入れる。または不要なデータを消す。
  → "メモリースティック デュオ"の誤消去防止スイッチを戻す。または別の"メモリースティック デュオ"を入れる。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではケースの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●型名:APK-THA
●故障の状態:できるだけ詳しく
●お買い上げ日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………**0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥**0466-31-2511**

修理相談窓口
フリーダイヤル……………**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥**0466-31-2531**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Precautions

- Do not subject the front glass to strong shock, as it may crack.
- Avoid opening the case near or on the water. Preparation such as installing the digital still camera and changing the "Memory Stick Duo" should be done indoors with low humidity.
- Do not throw the case into the water.
- Avoid using the case under the following situations:
  - in a very hot or humid place.
  - in water hotter than 40 °C (104 °F).
  - at temperatures lower than 0 °C (32 °F).

  In these situations moisture condensation or water leakage may occur and damage the equipment.
- Use the case for no longer than 30 minutes at a time in temperatures above 35 °C (95 °F).
- Be careful not to let the digital still camera fall when removing it from or putting it in the case.
- Do not leave the case under direct sunlight in a very hot and humid place for a long period of time. If you cannot avoid leaving the case under direct sunlight, be sure to cover the case with a towel or other protection.
- The digital still camera heats up if it is used inside the case for a long time. Before removing the digital still camera from the case, leave the case in the shade or other cool place for a while to cool down.
- Do not use the case in depths below 1.5 m (5 feet).

If sun oil is on the case, be sure to wash it off thoroughly using lukewarm water. If the case is left with sun oil on its body, the surface of the case may become discolored or damaged (such as cracks on the surface).

Water leakage

If water happens to leak in, stop exposing the case to water immediately.
If the digital still camera gets wet, take it to the nearest Sony dealer immediately.
Repair costs must be borne by the customer.

Handling the O-ring

What is the O-ring?

The O-ring Ⓐ ensures the waterproof qualities of the case or other equipment. (See illustration A)

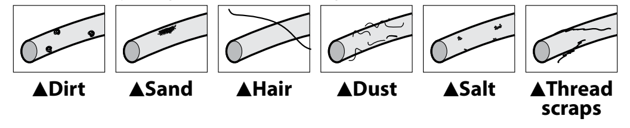
O-ring maintenance is very important. Failure to carry out O-ring maintenance according to the instructions may lead to water leakage and cause the case to sink.

Handling the O-ring

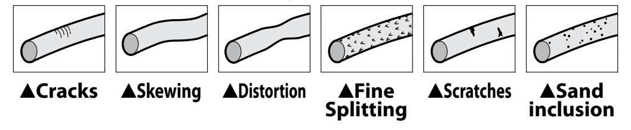
Fit the O-ring

Avoid fitting the O-ring in dusty or sandy locations.

1. **Remove the O-ring Ⓑ. (See illustration B)**
   - To remove the O-ring, press it lightly and slide it in the direction of the arrow as illustrated. The O-ring has enough slack to be able to be removed easily. Be careful not to scratch the O-ring with your fingernail.
   - Do not use a pointed or metal object to remove the O-ring. This kind of object may scratch or damage the case groove or O-ring.
2. **Inspect the O-ring.**
   - Check carefully for the following. If found, wipe off with a soft cloth or tissue paper.
     - Is there any dirt, sand, hair, dust, salt, thread scraps, etc. on the O-ring?
     - Is there any old grease on the O-ring?

   - Lightly run your fingertip around the O-ring to check for any invisible dirt.
   - Be careful not to leave any cloth or tissue paper fibers on the O-ring after wiping it.
   - Check the O-ring for cracks, skewing, distortion, fine splitting, scratches, sand inclusion, etc. Replace the O-ring if it is cracked or scratched.

3. **Inspect the O-ring groove.**
   Grains of sand or hardened salt sometimes get into the groove. Carefully remove them by blowing with an air spray or by wiping them with a cotton wool bud. Be careful not to leave any fibers from the cotton wool bud inside.
4. **Inspect the contact surface on the other side of the O-ring in the same way.**
5. **Fit the O-ring into the groove of the case.**
   Fit the O-ring evenly into the groove paying attention to the following points:
   - Check for dirt on the O-ring.
   - Check the O-ring is not twisted. (See illustration C)

How to check for O-ring

Before installing the equipment into the case, close the case and immerse it in water to a depth of about 15 cm for about three minutes and check that no water leaks in.

Maintenance

If the case is allowed to dry with sea water still in the O-ring groove, salt crystals form which may impair the O-ring's functions.

O-ring serviceable life

The serviceable life of the O-ring varies with frequency of use of the case and conditions. Generally, it is about one year.
Even if the O-ring is not cracked or scratched, deformation or wear reduces its waterproof qualities. Replace the O-ring with a new one if you find cracks, skewing, distortion, fine splitting, scratches, sand inclusion, etc.
After replacing, check that no water leaks in.

Anti-fogging lens solution

Coat the surface of the glass with the supplied anti-fogging lens solution. This is effective in preventing from fogging.

- How to use the anti-fogging lens solution
  Wipe the inside of the front glass with a wet swab, soft cloth or tissue paper with cleaner liquid evenly.

O-ring and anti-fogging lens solution

You can obtain the O-ring and anti-fogging lens solution at the nearest Sony dealer.
O-ring (model No. 4-116-279-01)
Anti-fogging lens solution (model No. 3-072-039-01)

Maintenance

- After recording in a location with a sea breeze, wash the case thoroughly in fresh water with the cover closed to remove salt and sand, then wipe with a soft dry cloth.
- If sun oil is on the case, be sure to wash it off thoroughly using lukewarm water.
- Clean the inside of the case with a soft dry cloth. Do not wash the inside of the case.

Be sure to perform the above maintenance each time you use the case. Do not use any type of solvent such as alcohol, benzine or thinner for cleaning, as this might damage the surface finish of the case.

When storing the case

- Do not close the cover of the case to prevent wear of the O-ring.
- Prevent dust from collecting on the O-ring.
- Avoid storing the case in a cold, very hot or humid place, or together with naphthalene or camphor, as these conditions might damage the unit.

Troubleshooting

Symptom	Cause/Corrective Actions
There are drops of water inside the case.	• There are scratches or cracks on the O-ring. → Replace the O-ring with a new one. • The O-ring is not set correctly. → Place the O-ring evenly in the groove. • The cover is not closed firmly. → Close the cover until it clicks.
The recording function does not work.	• The battery pack has run out. → Charge the battery pack fully. • The "Memory Stick Duo" is full. → Insert another "Memory Stick Duo" or erase unneeded data from the "Memory Stick Duo." • The write-protect tab on the "Memory Stick Duo" is set to LOCK. → Set the tab to the recording position or insert a new "Memory Stick Duo."

Français

Précautions

- Ne soumettez pas le verre avant à des chocs importants, car il pourrait se craqueler.
- N'ouvrez pas le boîtier dans l'eau ou à proximité de celle-ci. Les opérations préparatoires, telles que la mise en place de l'appareil photo numérique et le changement de « Memory Stick Duo », doivent être effectuées à l'intérieur, à l'abri de l'humidité.
- Ne jetez pas le boîtier dans l'eau.
- N'utilisez pas le boîtier dans les conditions suivantes :
  - dans un endroit très chaud ou humide ;
  - dans une eau à plus de 40 °C (104 °F) ;
  - à des températures inférieures à 0 °C (32 °F).

  Dans de telles conditions, le matériel pourrait être endommagé par une condensation ou une infiltration d'eau.
- N'utilisez pas le boîtier plus de 30 minutes d'affilée à une température supérieure à 35 °C (95 °F).
- Prenez garde de ne pas faire tomber l'appareil photo numérique lorsque vous le retirez du boîtier et que vous le remettez dedans.
- Ne laissez pas le boîtier en plein soleil ou dans un endroit très chaud et humide pendant une longue période. Si vous n'avez pas d'autre choix que de le laisser en plein soleil, recouvrez-le d'une serviette ou d'une autre protection.
- L'appareil photo numérique s'échauffe s'il est utilisé pendant longtemps à l'intérieur du boîtier. Avant de retirer l'appareil photo numérique du boîtier, laissez temporairement ce dernier à l'ombre ou dans un autre endroit frais pour qu'il se refroidisse.
- N'utilisez pas le boîtier à une profondeur supérieure à 1,5 m.

S'il y a de la crème solaire sur le boîtier, prenez soin de l'éliminer convenablement avec de l'eau tiède.
Si le boîtier est souillé avec de la crème solaire, sa surface risque de se décolorer ou d'être endommagée (craquelures sur la surface par exemple).

Infiltration d'eau

Si de l'eau s'infiltre dans le boîtier, arrêtez immédiatement de l'exposer à l'eau.
Si l'appareil photo numérique est mouillé, portez-le immédiatement chez le revendeur Sony le plus proche.
Les frais de réparation seront à la charge de l'utilisateur.

Manipulation du joint torique

Qu'est-ce que le joint torique ?

Le joint torique Ⓐ garantit l'étanchéité du boîtier ou de tout autre équipement. (Voir l'illustration A)

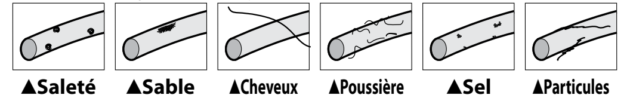
L'entretien du joint torique est très important. Le non-respect des instructions d'entretien du joint torique peut entraîner des infiltrations d'eau et faire couler le boîtier.

Manipulation du joint torique

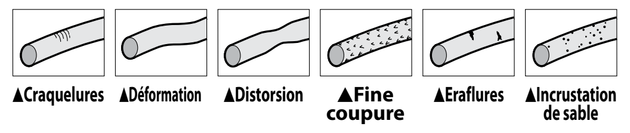
Fixation du joint torique

Evitez de fixer le joint torique si vous vous trouvez dans un lieu sablonneux ou poussiéreux.

1. **Retirez le joint torique Ⓑ. (Voir l'illustration B)**
   - Pour retirer le joint torique, appuyez légèrement dessus, puis faites-le glisser dans le sens de la flèche, comme indiqué sur l'illustration. Le joint torique est suffisamment lâche pour permettre un retrait aisé.
     Prenez garde de ne pas érafler le joint torique avec vos ongles.
   - N'utilisez pas d'objet pointu ou métallique pour retirer le joint torique. Ce type d'objet risque, en effet, d'érafler ou d'endommager la rainure du boîtier ou le joint torique.
2. **Inspectez le joint torique.**
   - Vérifiez les points suivants. En cas d'anomalie, nettoyez le joint à l'aide d'un chiffon doux ou d'un mouchoir en papier.
     - Présence de saletés, de sable, de cheveux, de poussière, de sel, de particules, etc. sur le joint torique ?
     - Présence de graisse sur le joint torique ?

   - Passez légèrement votre doigt sur le joint torique pour détecter d'éventuelles saletés invisibles.
   - Assurez-vous de ne pas laisser de fibres de tissu ou de papier sur le joint torique après l'avoir nettoyé.
   - Assurez-vous que le joint torique n'est pas craquelé, déformé, tordu, coupé, éraflé, incrusté de sable, etc. Remplacez-le s'il est fendu ou éraflé.

3. **Inspectez la rainure du joint torique.**
   Des grains de sable ou de sel s'incrustent parfois dans la rainure. Retirez-les soigneusement à l'aide d'un pulvérisateur à air ou d'un disque de coton. Prenez garde à ne pas laisser de fibres de coton à l'intérieur.
4. **Inspectez de la même manière la surface de contact de l'autre côté du joint torique.**
5. **Installez le joint torique dans la rainure du boîtier.**
   Installez le joint uniformément dans la rainure, en respectant les points suivants :
   - vérifiez qu'il n'y a pas de saleté sur le joint ;
   - vérifiez que le joint n'est pas tordu. (Voir l'illustration C)

Contrôle du joint torique

Avant d'installer l'équipement dans le boîtier, fermez ce dernier et plongez-le dans l'eau, à une profondeur de 15 cm environ, pendant trois minutes environ et assurez-vous que l'eau ne pénètre pas.

Entretien

Si vous faites sécher le boîtier alors que la rainure du joint torique contient encore de l'eau de mer, des cristaux de sel vont se former et peuvent diminuer l'étanchéité.

Durée de vie du joint torique

La durée de vie du joint torique varie selon la fréquence d'utilisation du boîtier et les conditions d'entreposage. Elle est généralement d'une année environ.
Même si le joint n'est pas craquelé ni éraflé, la déformation ou l'usure réduit ses qualités d'étanchéité. Remplacez le joint par un joint neuf s'il est craquelé, déformé, tordu, coupé, éraflé, incrusté de sable, etc.
Une fois le remplacement effectué, vérifiez qu'il n'y a aucune infiltration d'eau.

Solution anti-buée

Enduisez la surface du verre avec la solution anti-buée fournie. Elle est conçue pour empêcher la buée de se former.

- Utilisation de la solution anti-buée
  Frottez uniformément le verre avant avec un tampon, un chiffon doux ou un mouchoir en papier imbibé de solution nettoyante.

Joint torique et solution anti-buée

Vous pouvez vous procurer des joints toriques et de la solution anti-buée chez votre revendeur Sony le plus proche.
Joint torique (numéro de modèle : 4-116-279-01)
Solution anti-buée (numéro de modèle : 3-072-039-01)

Entretien

- Après une prise de vue dans un endroit exposé à la brise marine, lavez soigneusement le boîtier à l'eau douce, avec le couvercle fermé pour en retirer le sel et le sable, puis essuyez-le avec un chiffon doux et sec.
- S'il y a de la crème solaire sur le boîtier, prenez soin de l'éliminer convenablement avec de l'eau tiède.
- Nettoyez l'intérieur du boîtier avec un chiffon doux et sec. Ne lavez pas l'intérieur du boîtier.

Effectuez les opérations d'entretien ci-dessus après chaque utilisation du boîtier.
N'utilisez aucune sorte de solvant, comme de l'alcool, de l'essence ou du diluant pour le nettoyage car ces substances peuvent attaquer les finitions du boîtier.

Stockage du boîtier

- Ne fermez pas le couvercle du boîtier pour éviter l'usure du joint torique.
- Empêchez l'accumulation de poussière sur le joint torique.
- Ne rangez pas le boîtier dans un endroit froid, très chaud ou humide ou avec de la naphtaline ou du camphre car ceci pourrait l'endommager.

Dépannage

Symptôme	Cause/Remèdes
Présence de gouttes d'eau à l'intérieur du boîtier	• Le joint torique comporte des craquelures ou des éraflures. → Remplacez-le par un joint torique neuf. • Le joint torique n'est pas correctement mis en place. → Disposez-le uniformément dans la rainure. • Le couvercle n'est pas fermé correctement. → Fermez-le jusqu'au déclic.
La fonction d'enregistrement ne fonctionne pas	• La batterie est épuisée. → Rechargez-la complètement. • Le « Memory Stick Duo » est plein. → Insérez un autre « Memory Stick Duo » ou effacez les données inutiles du « Memory Stick Duo ». • Le taquet de protection en écriture du « Memory Stick Duo » est réglé sur LOCK. → Réglez le taquet sur la position d'enregistrement ou insérez un « Memory Stick Duo » neuf.

Español

Precauciones

- No someta el cristal frontal a impactos fuertes ya que podría romperse.
- Evite abrir el portacámara cerca o dentro del agua. Las operaciones de preparación como la instalación de la cámara digital de imágenes fijas y el cambio del "Memory Stick Duo" se deberían realizar en el interior y en condiciones de poca humedad.
- No arroje el portacámara al agua.
- Evite usar el portacámara en las situaciones siguientes:
  - en un lugar muy cálido o húmedo.
  - en agua más caliente de 40 ºC.
  - a temperaturas inferiores a los 0 ºC.

  En estas situaciones podría producirse condensación de humedad o infiltraciones de agua y dañarse el equipo.
- No utilice el portacámara durante más de 30 minutos con temperaturas superiores a los 35 ºC.
- No permita que se caiga la cámara digital de imágenes fijas al extraerla o colocarla en el portacámara.
- No deje el portacámara bajo la luz solar directa en un lugar muy cálido y húmedo durante largo tiempo. Si no puede evitar dejarlo bajo la luz solar directa, asegúrese de cubrirlo con una toalla u otro tipo de protección.
- La cámara digital de imágenes fijas se calentará si se utiliza dentro del portacámara durante mucho tiempo. Antes de extraer la cámara digital del portacámara, deje este a la sombra o en otro lugar fresco durante algún tiempo para que se enfríe.
- No utilice el portacámara a profundidades mayores de 1,5 m.

Si hay aceite solar en el portacámara, asegúrese de lavarlo completamente utilizando agua tibia.
Si dejase el portacámara con restos de aceite solar en su superficie, esta podría decolorarse o dañarse (por ejemplo, la superficie podría agrietarse).

Infiltración de agua

En caso de producirse infiltraciones de agua en el interior, deje de exponer el portacámara al agua inmediatamente.
Si se moja la cámara digital de imágenes fijas, llévela inmediatamente al distribuidor de Sony más cercano.
Los costes de reparación tendrá que abonarlos el usuario.

Manejo de la junta tórica

¿Qué es la junta tórica?

La junta tórica Ⓐ asegura la calidad impermeable del portacámara y de otros equipos. (Consulte la ilustración A)

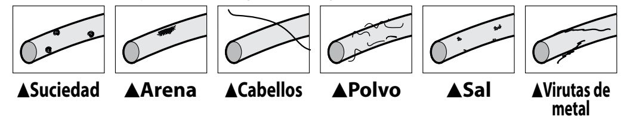
El mantenimiento de la junta tórica es muy importante. Si no realiza el mantenimiento de la junta tórica según las instrucciones, podría provocar infiltraciones de agua y hacer que se inunde el portacámara.

Manejo de la junta tórica

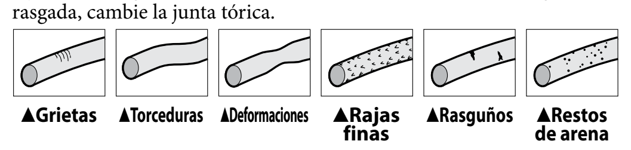
Ajuste la junta tórica

Evite fijar la junta tórica en lugares polvorientos o con arena.

1. **Retire la junta tórica Ⓑ. (Consulte la ilustración B)**
   - Para extraer la junta tórica, presiónela ligeramente y deslícela en el sentido que indica la flecha en la ilustración. La junta tórica se ajusta con suficiente holgura para poderla extraer fácilmente.
     Procure no arañar la junta tórica con las uñas.
   - No utilice ningún objeto metálico ni punzante para extraer la junta tórica. Este tipo de objetos podría arañar o dañar la ranura del portacámara o la junta tórica.
2. **Inspeccione la junta tórica.**
   - Compruebe detenidamente los siguientes elementos. Si se encontrara alguno de estos elementos, límpielo con un paño suave o un pañuelo de papel.
     - ¿Contiene la junta tórica suciedad, arena, cabellos, polvo, sal, virutas de metal, etc.?
     - ¿Contiene la junta tórica grasa antigua?

   - Pase ligeramente la yema del dedo alrededor de la junta tórica para comprobar si hay algo de suciedad no visible.
   - Procure no dejar ninguna fibra del paño ni del pañuelo de papel en la junta tórica después de limpiarla.
   - Compruebe la junta tórica por si tuviera grietas, torceduras, deformaciones, rajas finas, rasguños, restos de arena, etc. En caso de que esté agrietada o rasgada, cambie la junta tórica.

3. **Inspeccione la ranura de la junta tórica.**
   Es posible que en ocasiones se introduzcan granos de arena o sal sólida en la ranura. Retírelos con cuidado soplando con un aerosol de aire y frotándolos con una bola de algodón. Tenga cuidado de no dejar dentro ninguna fibra de la bola de algodón.
4. **Explore la superficie de contacto del otro lado de la junta tórica de la misma forma.**
5. **Ajuste la junta tórica en la ranura del portacámara.**
   Ajuste la junta tórica uniformemente en la ranura, prestando atención a los siguientes puntos:
   - Compruebe si la junta tórica presenta suciedad.
   - Compruebe que la junta tórica no esté torcida. (Consulte la ilustración C)

Cómo comprobar la junta tórica

Antes de instalar el equipo en el estuche, cierre el estuche y sumérjalo en agua a una profundidad de unos 15 cm durante aproximadamente tres minutos y compruebe que no se haya infiltrado agua.

Mantenimiento

Si se deja secar el portacámara cuando todavía hay agua del mar en la ranura de la junta tórica, se formarán cristales salinos que podrían dañar el funcionamiento de la junta tórica.

Vida útil de la junta tórica

La vida útil de la junta tórica varía según las condiciones y la frecuencia de uso del portacámara. Por lo general, es de aproximadamente un año.
Aunque la junta tórica no esté agrietada ni rasgada, la deformación o el desgaste reducen sus cualidades de impermeabilidad. Sustituya la junta tórica por una nueva si encuentra grietas, torceduras, deformaciones, rajas finas, rasguños, restos de arena, etc.
Una vez sustituida, compruebe que no se infiltra agua.

Solución antiempañante para el objetivo

Recubra la superficie del cristal con la solución antiempañante para el objetivo. Resulta efectiva para evitar el empañamiento.

- Utilización de la solución antiempañante para el objetivo
  Frote la cara interior del cristal frontal con un bastoncillo de algodón húmedo, un paño suave o un pañuelo de papel con solución limpiadora uniformemente.

Junta tórica y solución antiempañante para el objetivo

Puede adquirir las juntas tóricas y la solución antiempañante para el objetivo en el distribuidor Sony más cercano.
Junta tórica (modelo nº 4-116-279-01)
Solución antiempañante para el objetivo (modelo nº 3-072-039-01)

Mantenimiento

- Después de grabar en un lugar expuesto a brisas marinas, lave el portacámara con agua limpia y con la cubierta cerrada para retirar la sal y la arena y, a continuación, frótelo con un paño suave y seco.
- Si quedan restos de aceite solar en el portacámara, asegúrese de lavarlo completamente utilizando agua tibia.
- Limpie el interior del portacámara con un paño suave y seco. No lave el interior del portacámara.

Asegúrese de realizar el mantenimiento indicado cada vez que utilice el portacámara. No use ningún tipo de disolvente como alcohol, bencina o disolventes para limpiarlo, ya que pueden dañar el acabado de la superficie del portacámara.

Cuando vaya a almacenar el portacámara

- No cierre la cubierta del portacámara para evitar que la junta tórica se desgaste.
- Evite que se acumule polvo en la junta tórica.
- Evite almacenar el portacámara en un lugar frío, muy cálido o húmedo, ni junto a naftalina ni alcanfor, ya que estas condiciones podrían dañar la unidad.

Solución de problemas

Síntoma	Causa/acciones correctivas
Hay gotas de agua dentro del portacámara.	• La junta tórica presenta rasguños o grietas. → Sustituya la junta tórica por otra nueva. • La junta tórica no está colocada correctamente. → Coloque la junta tórica uniformemente en la ranura. • La cubierta no está bien cerrada. → Cierre la cubierta hasta que se oiga un clic.
La función de grabación no se activa.	• La batería se ha agotado. → Cargue completamente la batería. • El "Memory Stick Duo" está lleno. → Inserte otro "Memory Stick Duo" o borre los datos innecesarios del "Memory Stick Duo". • La lengüeta de protección contra escritura del "Memory Stick Duo" está ajustada en LOCK. → Ajuste la lengüeta en la posición de grabación o inserte un "Memory Stick Duo" nuevo.

Nederlands

Voorzorgsmaatregelen

- Stel het glas aan de voorkant niet bloot aan sterke trillingen. Het glas kan hierdoor barsten.
- Open de behuizing niet in de buurt van of op het water. U moet de voorbereiding, zoals het installeren van de digitale fotocamera en het vervangen van de "Memory Stick Duo", binnenshuis uitvoeren bij een lage luchtvochtigheid.
- Gooi de behuizing niet in het water.
- Gebruik de behuizing niet onder de volgende omstandigheden:
  - op zeer warme of vochtige plaatsen.
  - in water met een temperatuur van boven 40 °C.
  - bij temperaturen beneden 0 °C.

  Onder deze omstandigheden kan vochtcondensatie of waterlekkage optreden en kan de apparatuur worden beschadigd.
- Bij temperaturen boven 35 °C mag u de behuizing niet langer dan 30 minuten achtereen gebruiken.
- Laat de digitale fotocamera niet vallen als u deze verwijdert uit of plaatst in de behuizing.
- Laat de behuizing niet langere tijd in direct zonlicht op een zeer warme en vochtige plaats liggen. Als u de behuizing toch in direct zonlicht moet laten liggen, moet u de behuizing bedekken met een handdoek of andere bescherming.
- De digitale fotocamera wordt warm na langdurig gebruik in de behuizing. Voordat u de digitale fotocamera uit de behuizing haalt, moet u de behuizing met de camera een tijdje in de schaduw of op een andere locatie leggen, zodat de camera kan afkoelen.
- Gebruik de behuizing niet op een diepte groter dan 1,5 m.

Als er zonnebrandolie op de behuizing komt, moet u de behuizing goed reinigen met lauw water.
Als u de zonnebrandolie niet van de behuizing verwijdert, kan de buitenkant van de behuizing verkleuren of beschadigen (er kunnen scheurtjes in het oppervlak ontstaan).

Waterlekkage

Als er waterlekkage optreedt, moet u de behuizing niet langer aan water blootstellen.
Als de digitale fotocamera nat wordt, moet u de camera direct naar de dichtstbijzijnde Sony-handelaar brengen.
De klant moet eventuele reparatiekosten betalen.

De O-ring gebruiken

Wat is de O-ring?

De O-ring Ⓐ zorgt ervoor dat de behuizing of andere apparatuur tegen water wordt beschermd. (Zie afbeelding A)

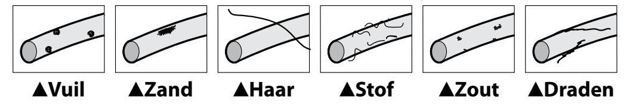
Het is erg belangrijk dat u de O-ring goed onderhoudt. Als u de O-ring niet goed onderhoudt zoals in de gebruiksaanwijzing wordt aangegeven, kan er water in de behuizing lekken en kan de behuizing zinken.

De O-ring gebruiken

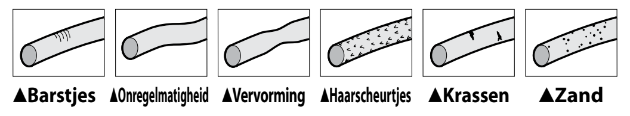
De O-ring aanbrengen

Breng de O-ring niet aan op locaties met veel stof of zand.

1. **Verwijder de O-ring Ⓑ. (Zie afbeelding B)**
   - U kunt de O-ring verwijderen door deze enigszins in te drukken en in de richting van de pijl te schuiven, zoals in de afbeelding wordt weergegeven. De O-ring heeft voldoende speling zodat u deze gemakkelijk kunt verwijderen. Zorg dat u met uw nagel geen krassen op de O-ring maakt.
   - Verwijder de O-ring niet met een puntig of metalen voorwerp. U kunt hiermee krassen op de groef van de behuizing of de O-ring maken of deze beschadigen.
2. **Controleer de O-ring.**
   - Controleer zorgvuldig of er vuil aanwezig is. Is dit het geval, dan moet u het vuil verwijderen met een zachte doek of een papieren zakdoekje.
     - Bevinden er zich vuil, zand, haren, stof, zout, draadjes, enzovoort op de O-ring?
     - Bevinden er zich resten smeervet op de O-ring?

   - Ga voorzichtig met uw vingertop over de O-ring om te controleren op vuil dat niet zichtbaar is.
   - Zorg dat er geen resten van een doek of papieren zakdoekje achterblijven op de O-ring nadat u de pakking hebt schoongemaakt.
   - Controleer de O-ring op barstjes, onregelmatigheid, vervorming, haarscheurtjes, zand, enzovoort. Vervang de O-ring als deze is gebarsten of bekrast.

3. **Controleer de groef van de O-ring.**
   Zandkorrels of opgedroogd zout kunnen soms in de groef terechtkomen. Blaas het zand en zout weg met een verstuiver of veeg het weg met een wattenstaafje. Zorg dat er geen resten van het wattenstaafje achterblijven.
4. **Controleer op dezelfde manier het contactgedeelte aan de andere kant van de O-ring.**
5. **Plaats de O-ring in de groef van de behuizing.**
   Plaats de O-ring gelijkmatig in de groef en let met name op de volgende punten:
   - Controleer op stof op de O-ring.
   - Controleer of de O-ring niet is gedraaid. (Zie afbeelding C)

Controleren op lekkage van de O-ring

Voordat u de apparatuur in de behuizing plaatst, sluit u de behuizing en houdt u deze ongeveer drie minuten 15 cm onder water om te controleren of er geen water in de behuizing lekt.

Onderhoud

Als u de behuizing laat opdrogen met zout water in de groef van de O-ring, kan er zout kristalliseren waardoor de functies van de O-ring kunnen verminderen.

Gebruiksduur van de O-ring

De gebruiksduur van de O-ring verschilt, afhankelijk van hoe vaak en onder welke omstandigheden u de behuizing gebruikt. De gebruiksduur is over het algemeen één jaar.
Zelfs als de O-ring niet is gebarsten of bekrast, neemt de waterdichtheid van de ring toch af door vervorming en slijtage. Vervang de O-ring door een nieuwe als u barstjes, onregelmatigheid, vervorming, haarscheurtjes, krassen of zand aantreft.
Als u de ring hebt vervangen, controleert u of er geen water in lekt.

Vloeistof tegen het beslaan van de lens

Breng een laagje vloeistof tegen het beslaan van de lens aan op het oppervlak van het glas. U voorkomt zo dat het glas beslaat.

- De vloeistof tegen het beslaan van de lens gebruiken
  Verdeel de vloeistof gelijkmatig aan de binnenkant van het glas aan de voorkant met een wattenstaafje, een zacht doekje of een tissue.

O-ring en vloeistof tegen het beslaan van de lens

De O-ring en de vloeistof tegen het beslaan van de lens zijn verkrijgbaar bij de dichtstbijzijnde Sony-handelaar.
O-ring (modelnummer 4-116-279-01)
Vloeistof tegen het beslaan van de lens (modelnummer 3-072-039-01)

Onderhoud

- Wanneer u opnamen hebt gemaakt in een omgeving met zeewind, moet u de behuizing goed uitwassen met zoet water om zout en zand te verwijderen. Hierbij moet de klep zijn gesloten. Veeg de behuizing af met een zachte, droge doek.
- Als er zonnebrandolie op de behuizing komt, moet u de behuizing goed reinigen met lauw water.
- Reinig de binnenkant van de behuizing met een zachte, droge doek. Maak de binnenkant van de behuizing niet nat.

Voer het bovenstaande onderhoud altijd uit als u de behuizing gebruikt. Gebruik geen oplosmiddelen, zoals alcohol, benzine of thinner, omdat deze het oppervlak van de behuizing kunnen beschadigen.

De behuizing opbergen

- Sluit de klep van de behuizing niet om slijtage van de O-ring te voorkomen.
- Zorg dat er geen stof op de O-ring komt.
- Bewaar de behuizing niet op een koude, zeer hete of vochtige plaats of samen met naftaleen of kamfer. Hierdoor kan de behuizing worden beschadigd.

Problemen oplossen

Probleem	Oorzaak/oplossing
Er zijn waterdruppels in de behuizing terechtgekomen.	• De O-ring is bekrast of gescheurd. → Vervang de O-ring door een nieuwe. • De O-ring is niet juist aangebracht. → Plaats de O-ring gelijkmatig in de groef. • De klep is niet stevig gesloten. → Sluit de klep tot deze vastklikt.
De opnamefunctie werkt niet.	• De batterij is leeg. → Laad de batterij volledig op. • De "Memory Stick Duo" is vol. → Plaats een andere "Memory Stick Duo" in de camera of verwijder ongewenste gegevens van de "Memory Stick Duo". • Het wispreventienokje op de "Memory Stick Duo" is ingesteld op LOCK. → Zet het nokje in de opnamepositie of plaats een nieuwe "Memory Stick Duo".

Deutsch

Sicherheitsmaßnahmen

- Schützen Sie das Frontglas vor Stößen, da es sonst springen könnte.
- Öffnen Sie das Gehäuse möglichst nicht am oder auf dem Wasser. Vorbereitungen wie das Einsetzen der digitalen Standbildkamera und das Auswechseln des „Memory Stick Duo" sollten Sie drinnen an einem Ort mit niedriger Luftfeuchtigkeit und salzfreier Luft ausführen.
- Werfen Sie das Gehäuse nicht ins Wasser.
- Verwenden Sie das Gehäuse möglichst nicht unter folgenden Bedingungen:
  - an einem sehr heißen oder feuchten Ort.
  - bei Wassertemperaturen über 40 °C.
  - bei Lufttemperaturen unter 0 °C.

  Andernfalls kann sich Feuchtigkeit niederschlagen oder Wasser eindringen und die Ausrüstung beschädigen.
- Verwenden Sie das Gehäuse bei Temperaturen über 35 °C nicht länger als 30 Minuten am Stück.
- Achten Sie beim Einsetzen und Herausnehmen der digitalen Standbildkamera darauf, dass sie nicht herunterfällt.
- Lassen Sie das Gehäuse nicht längere Zeit in direktem Sonnenlicht oder an einem sehr heißen und feuchten Ort liegen. Sollten Sie jedoch keinen schattigen Platz finden, schützen Sie das Gehäuse zumindest mit einem Handtuch o. Ä. vor direkter Sonne.
- Die digitale Standbildkamera erwärmt sich nach längerem Betrieb im Gehäuse. Lassen Sie das Gehäuse einige Zeit im Schatten oder an einem kühlen Ort abkühlen, bevor Sie die digitale Standbildkamera herausnehmen.
- Verwenden Sie das Gehäuse nicht in Tiefen unter 1,5 m.

Waschen Sie Sonnenöl gegebenenfalls sorgfältig mit lauwarmem Wasser vom Gehäuse ab.
Sonnenöl kann nach einer gewissen Zeit das Gehäusematerial angreifen, so dass es sich verfärbt oder Risse bekommt.

Eindringen von Wasser

Wenn Wasser eindringt, nehmen Sie das Gehäuse umgehend aus dem Wasser.
Wenn die digitale Standbildkamera nass geworden ist, bringen Sie sie umgehend zum nächsten Sony-Händler.
Reparaturen sind kostenpflichtig.

Umgang mit dem O-Ring

Was ist der O-Ring?

Der O-Ring Ⓐ sorgt dafür, dass das Gehäuse wasserdicht schließt und das darin eingesetzte Gerät trocken bleibt (siehe Abbildung A).

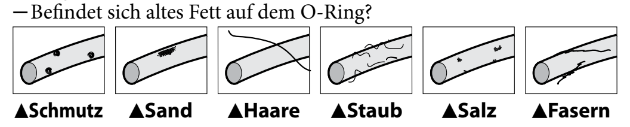
Die Wartung des O-Rings ist daher äußerst wichtig. Bei Nichtbeachtung der Wartungshinweise zum O-Ring kann es zu einem Eindringen von Wasser und zum Sinken des Gehäuses kommen.

Umgang mit dem O-Ring

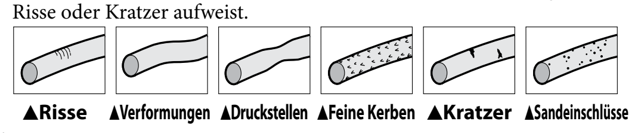
Einsetzen des O-Rings

Setzen Sie den O-Ring möglichst nicht an staubigen oder sandigen Orten ein.

1. **Entfernen Sie den O-Ring Ⓑ (siehe Abbildung B).**
   - Zum Entfernen des O-Rings drücken Sie leicht darauf und schieben Sie ihn wie in der Abbildung dargestellt in Pfeilrichtung. Der O-Ring hat genug Spiel, so dass er leicht entfernt werden kann.
     Achten Sie darauf, den O-Ring nicht mit dem Fingernagel zu zerkratzen.
   - Verwenden Sie zum Entfernen des O-Rings keinen spitzen und keinen Metallgegenstand. Solche Gegenstände können die Nut im Gehäuse oder den O-Ring zerkratzen oder anderweitig beschädigen.
2. **Überprüfen Sie den O-Ring.**
   - Achten Sie besonders auf folgende Punkte. Wischen Sie den O-Ring bei Bedarf mit einem weichen Tuch oder Papiertuch sauber.
     - Befinden sich Schmutz, Sand, Haare, Staub, Salz, Fasern usw. auf dem O-Ring?
     - Befindet sich altes Fett auf dem O-Ring?

   - Fahren Sie mit der Fingerspitze sorgfältig über den O-Ring und prüfen Sie ihn auf nicht sichtbare Verschmutzungen.
   - Achten Sie darauf, dass nach dem Abwischen des O-Rings keine Textil- oder Papierfasern auf der Dichtung zurückbleiben.
   - Überprüfen Sie den O-Ring auf Risse, Verformungen, Druckstellen, feine Kerben, Kratzer, Sandeinschlüsse usw. Tauschen Sie den O-Ring aus, wenn er Risse oder Kratzer aufweist.

3. **Überprüfen Sie die Nut für den O-Ring.**
   Staubkörner oder getrocknete Salzkörner können in die Nut gelangen. Reinigen Sie die Nut mit einem Staubbläser oder einem Wattestäbchen. Achten Sie darauf, dass keine Fasern vom Wattestäbchen in der Nut zurückbleiben.
4. **Überprüfen Sie die Kontaktfläche auf der anderen Seite des O-Rings auf die gleiche Weise.**
5. **Setzen Sie den O-Ring in die Nut am Gehäuse ein.**
   Setzen Sie den O-Ring gleichmäßig in die Nut ein und achten Sie dabei besonders auf folgende Punkte:
   - Überprüfen Sie den O-Ring auf Schmutz.
   - Achten Sie darauf, dass der O-Ring nicht verdreht ist (siehe Abbildung C).

So überprüfen Sie den O-Ring auf Dichtigkeit

Vor dem Einsetzen des Geräts schließen Sie das Unterwassergehäuse und tauchen es etwa drei Minuten lang ca. 15 cm tief in Wasser ein und überprüfen, ob Wasser eindringt.

Wartung

Wenn sich Meerwasser in der Nut für den O-Ring befindet und Sie das Gehäuse trocknen lassen, bilden sich Salzkristalle, die die Funktion des O-Rings beeinträchtigen können.

Lebensdauer des O-Rings

Die Lebensdauer des O-Rings hängt davon ab, wie häufig und unter welchen Bedingungen das Gehäuse verwendet wird. Im Allgemeinen beträgt sie ein Jahr.
Auch wenn der O-Ring keine Risse bzw. Kratzer aufweist, verringert sich die Dichtigkeit durch Verformungen und Verschleiß. Tauschen Sie den O-Ring gegen einen neuen aus, wenn Risse, Verformungen, Druckstellen, feine Kerben, Kratzer, Sandeinschlüsse usw. auftreten.
Stellen Sie nach dem Austauschen des O-Rings sicher, dass kein Wasser in das Gehäuse eindringt.

Antibeschlagmittel

Bringen Sie das mitgelieferte Antibeschlagmittel auf dem Frontglas an. Dadurch kann das Beschlagen verhindert werden.

- So verwenden Sie das Antibeschlagmittel
  Verteilen Sie das Mittel auf der Innenseite des Frontglases gleichmäßig mit einem feuchten Wattestäbchen, einem weichen Tuch oder einem Papiertuch mit Reinigungsflüssigkeit.

O-Ring und Antibeschlagmittel

Sie erhalten O-Ring und Antibeschlagmittel bei Ihrem Sony-Händler.
O-Ring (Artikelnr. 4-116-279-01)
Antibeschlagmittel (Artikelnr. 3-072-039-01)

Wartung

- Nach Aufnahmen an Orten, an denen das Gehäuse der Seeluft ausgesetzt war, waschen Sie Salz und Sand bei fest verschlossener Verschlussklappe mit Süßwasser ab. Wischen Sie das Gehäuse dann mit einem trockenen, weichen Tuch ab.
- Waschen Sie Sonnenöl gegebenenfalls sorgfältig mit lauwarmem Wasser vom Gehäuse ab.
- Reinigen Sie das Innere des Gehäuses mit einem weichen, trockenen Tuch. Waschen Sie das Innere des Gehäuses nicht aus.

Führen Sie die obigen Wartungsmaßnahmen bei jeder Verwendung des Gehäuses durch. Verwenden Sie zum Reinigen keine Lösungsmittel wie Verdünner, Benzin oder Alkohol. Diese könnten die Beschichtung des Gehäuses angreifen.

Aufbewahren des Gehäuses

- Schließen Sie nicht die Verschlussklappe des Gehäuses. So verhindern Sie den Verschleiß des O-Rings.
- Sorgen Sie dafür, dass der O-Ring nicht verstaubt.
- Bewahren Sie das Gehäuse nicht an einem Ort auf, an dem es Kälte, starker Hitze, Feuchtigkeit, Naphthalin oder Kampfer ausgesetzt ist. Andernfalls kann das Produkt beschädigt werden.

Störungsbehebung

Symptom	Ursache/Abhilfemaßnahmen
Im Gehäuse befinden sich Wassertropfen.	• Auf dem O-Ring befinden sich Kratzer oder Risse. → Tauschen Sie den O-Ring gegen einen neuen aus. • Der O-Ring wurde nicht richtig eingesetzt. → Setzen Sie den O-Ring gleichmäßig in die Nut ein. • Die Verschlussklappe ist nicht fest verschlossen. → Schließen Sie die Verschlussklappe, so dass sie mit einem Klicken einrastet.
Die Aufnahme funktioniert nicht.	• Der Akku ist erschöpft. → Laden Sie den Akku vollständig auf. • Der „Memory Stick Duo" ist voll. → Setzen Sie einen anderen „Memory Stick Duo" ein oder löschen Sie nicht mehr benötigte Daten vom „Memory Stick Duo". • Die Schreibschutzlasche am „Memory Stick Duo" steht auf LOCK. → Stellen Sie die Lasche in die Aufnahmeposition oder setzen Sie einen neuen „Memory Stick Duo" ein.

Svenska

Försiktighetsåtgärder

- Utsätt inte frontglaset för kraftiga stötar, det kan spricka.
- Undvik att öppna skyddsfodralet på stranden eller när du är ute i vattnet. Förberedelser, som t.ex. installation av den digitala stillbildskameran eller byte av "Memory Stick Duo", bör du göra inomhus, där luftfuktigheten är låg.
- Kasta inte skyddsfodralet i vattnet.
- Undvik att använda skyddsfodralet:
  - där det är mycket varmt och fuktigt.
  - där vattnet är varmare än 40 °C.
  - där det är kallare än 0 °C.

  I dessa fall kan det bildas kondens eller uppstå läckage som kan skada utrustningen.
- Använd inte skyddsfodralet längre än 30 minuter på en plats där temperaturen överstiger 35 °C.
- Var försiktig så att du inte tappar den digitala stillbildskameran när du tar ur eller sätter in den i skyddsfodralet.
- Lämna inte skyddsfodralet någon längre stund i direkt solljus eller där det är mycket varmt och fuktigt. Om du måste lämna skyddsfodralet i direkt solljus bör du täcka över det med en handduk eller liknande som skydd.
- Den digitala stillbildskameran blir varm om du använder den i skyddsfodralet under en längre tid. Innan du tar ut den digitala stillbildskameran ur skyddsfodralet bör du låta det svalna genom att lägga det en stund i skuggan, eller på någon annan plats där det är svalt.
- Använd inte skyddsfodralet på större djup än 1,5 m.

Om det har kommit sololja på skyddsfodralet bör du tvätta av det ordentligt med ljummet vatten.
Om du inte tvättar bort eventuell sololja på skyddsfodralet finns det risk för att ytan blir missfärgad eller skadad (det kan t.ex. uppstå sprickor på ytan).

Läckage

Om du upptäcker att vatten läcker in bör du genast sluta använda skyddsfodralet i vatten.
Om den digitala stillbildskameran blivit våt bör du genast ta den till närmaste Sony-återförsäljare.
Kunden får själv stå för eventuella reparationskostnader.

Hantering av O-ringen

Vad är en O-ring?

Det är O-ringen Ⓐ som är den yttersta garanten för att skyddsfodralet och liknande utrustningar är vattentäta. (Se ill. A)

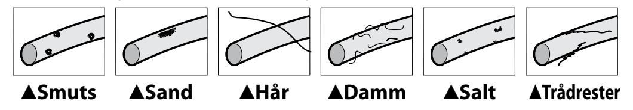
Det är mycket viktigt att underhålla O-ringen. Om du inte underhåller O-ringen enligt instruktionerna kan det leda till läckage som till och med kan göra att skyddsfodralet sjunker när det används i vatten.

Hantering av O-ringen

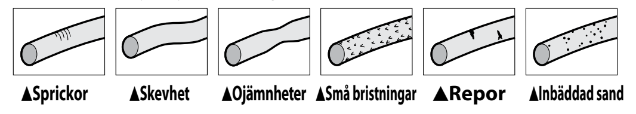
Inpassning av O-ringen

Undvik att passa in O-ringen där det är dammigt eller sandigt.

1. **Ta bort O-ringen Ⓑ. (Se ill. B)**
   - Bilden visar hur du tar bort O-ringen genom att lyfta ur den i pilens riktning. O-ringen sitter tillräckligt löst för att du ska kunna ta bort den lätt.
     Se upp så att du inte råkar repa O-ringen med nageln.
   - Använd inte ett föremål som är spetsigt eller gjort av metall för att ta bort O-ringen. Sådana föremål kan repa eller skada O-ringen eller packningskanalen i skyddsfodralet.
2. **Kontrollera O-ringen.**
   - Kontrollera följande noggrant. Om du hittar något av följande på O-ringen torkar du bort det med en mjuk duk eller en pappersnäsduk.
     - Finns det smuts, sand, hår, damm, salt, trådrester eller liknande på O-ringen?
     - Finns det gammalt fett på O-ringen?

   - Stryk med fingret försiktigt runt O-ringen och känn efter om det finns några ojämnheter som skvallrar om föroreningar som är svåra att upptäcka med ögat.
   - Se till att inga fibrer från duken eller näsduken finns kvar på O-ringen när du har torkat av den.
   - Syna O-ringen och leta efter sprickor, skevheter, ojämnheter, små bristningar, repor, sand el.dyl. Byt ut O-ringen om den har sprickor eller repor.

3. **Kontrollera O-ringens kanal.**
   Det kan finnas sand eller saltbildningar i kanalen. Du kan få bort eventuell sand och eventuellt salt med tryckluft eller genom torka bort det med bomullstops. Se till att inga fibrer från bomullstopsen blir kvar på insidan.
4. **Kontrollera på samma sätt kontaktytan på skyddsfodralet (den yta som O-ringen ligger an emot när skyddsfodralet stängs).**
5. **Passa in O-ringen i skyddsfodralets packningskanal.**
   Samtidigt som du passar in O-ringen i kanalen på skyddsfodralet bör du kontrollera följande:
   - Se efter så att det inte finns någon smuts på O-ringen.
   - Se efter så att O-ringen inte snott sig. (Se ill. C)

Hur du kontrollerar O-ringen

Innan utrustningen placeras i fodralet ska du stänga fodralet, sänka ner det i vatten till ett djup av ca 15 cm i ungefär tre minuter och sedan kontrollera att inte något vatten läckt in.

Underhåll

Om du låter skyddsfodralet torka med havsvatten i O-ringens kanal finns det risk för att det bildas saltkristaller, vilket kan äventyra O-ringens funktion.

Hur länge en O-ring kan användas

Hur länge en O-ring kan användas beror dels på hur ofta du använder skyddsfodralet, dels på under vilka förhållanden det använts. Som tumregel kan du räkna med en livslängd på runt ett år.
Även om O-ringen inte har några skåror eller repor kan slitage och en långvarig användning deformera den så att den inte längre håller tätt mot vatten. Byt ut O-ringen mot en ny om du upptäcker sprickor, skevheter, ojämnheter, tunna sprickor, repor, inbäddade sandkorn och liknande.
När du bytt ut O-ringen bör du kontrollera att inte vatten läcker in.

Imskyddsmedel

Täck glasytan med det medföljande imskyddsmedlet som hindrar imma från att bildas på glaset. Medlet är ett effektivt skydd mot imbildning.

- Hur du använder imskyddsmedlet
  Torka insidan av frontglaset jämt med en fuktad bomullstuss, en mjuk duk eller en pappersnäsduk fuktad med rengöringsmedel.

O-ring och imskyddsmedel

Du kan köpa O-ring och imskyddsmedel hos närmaste Sony-återförsäljare.
O-ring (artikelnummer 4-116-279-01)
Imskyddsmedel (artikelnummer 3-072-039-01)

Underhåll

- När du fotograferat i salthaltig havsluft bör du tvätta av det stängda fodralet ordentligt i sötvatten så att du får bort salt och sand, och sedan torka av det med en torr, mjuk duk.
- Om det har kommit sololja på skyddsfodralet bör du tvätta av det ordentligt med ljummet vatten.
- Torka ur skyddsfodralets insida med en mjuk torr duk. Tvätta inte skyddsfodralets insida.

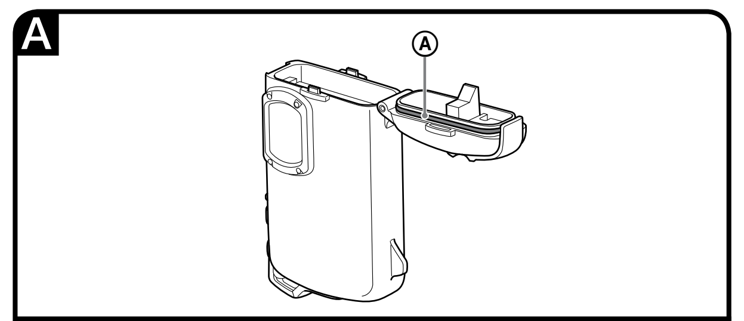
Ovanstående underhåll bör du utföra varje gång du använt skyddsfodralet. Använd aldrig någon typ av lösningsmedel när du rengör skyddsfodralet, t.ex. alkohol, bensin eller thinner, eftersom det kan skada ytbehandlingen på skyddsfodralet.

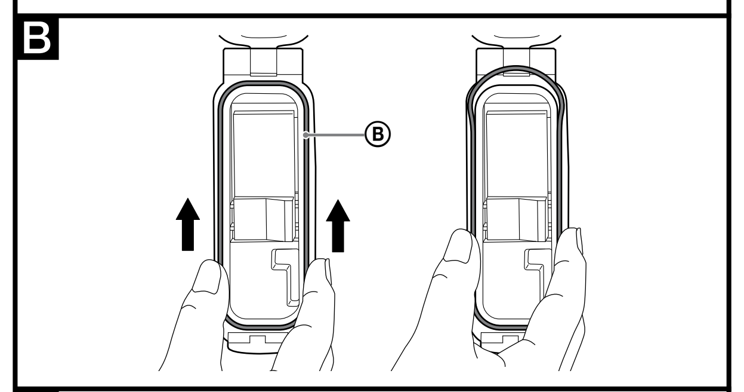
Förvaring av skyddsfodralet

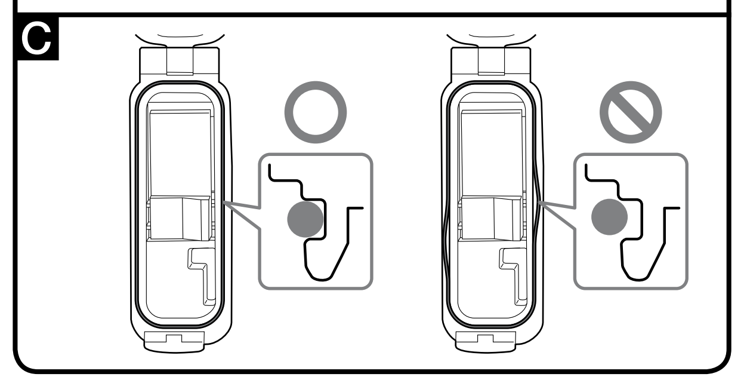
- Du kan undvika onödigt slitage på O-ringen genom att inte stänga skyddsfodralet.
- Se till att inte O-ringen blir dammig.
- Undvik att förvara skyddsfodralet där det är kallt, mycket varmt eller fuktigt och förvara det inte heller tillsammans med naftalin eller malmedel, eftersom det kan skada skyddsfodralet.

Felsökning

Symptom	Orsak/Åtgärder
Det finns vattendroppar i skyddsfodralet.	• Det finns repor eller sprickor på O-ringen. → Byt ut O-ringen mot en ny. • O-ringen har inte satts i ordentligt. → Se till att O-ringen sitter rätt i packningskanalen. • Skyddsfodralet har inte varit ordentligt stängt. → Stäng luckan så att den klickar på plats.
Inspelningsfunktionen fungerar inte.	• Batteriet är tomt. → Ladda upp batteriet helt. • Det "Memory Stick Duo" du satt i är fullt. → Sätt i ett annat "Memory Stick Duo" eller radera onödiga data från "Memory Stick Duo". • Skrivskyddsfliken på "Memory Stick Duo" är ställd på LOCK (låst). → Ställ skrivskyddsfliken på läge för inspelning eller sätt i ett nytt "Memory Stick Duo".







Italiano

Precauzioni

- Non esporre il vetro anteriore a urti violenti, onde evitarne la rottura.
- Evitare l'apertura della custodia in prossimità dell'acqua. La preparazione (inserimento della fotocamera digitale e sostituzione della "Memory Stick Duo") deve essere eseguita al chiuso e in condizioni di bassa umidità.
- Non gettare in acqua la custodia.
- Evitare l'uso della custodia nelle situazioni indicate di seguito:
  - In luoghi particolarmente caldi o umidi.
  - In acqua con temperatura superiore a 40 °C.
  - A temperature inferiori a 0 °C.

  In questi casi, è possibile che si produca della condensa o che si verifichino infiltrazioni d'acqua, che possono danneggiare l'apparecchiatura.
- Utilizzare la custodia per un tempo inferiore a 30 minuti con temperature superiori a 35 °C.
- Evitare di far cadere la fotocamera digitale durante l'estrazione o l'inserimento nella custodia.
- Non lasciare la custodia esposta alla luce diretta del sole, in ambienti caldi e umidi, per lunghi periodi. Se non è possibile evitare di lasciare la custodia alla luce del sole, coprirla con un telo o con un'altra protezione.
- La fotocamera digitale si surriscalda se utilizzata all'interno della custodia per lungo tempo. Prima di estrarre la fotocamera digitale dalla custodia, lasciare la custodia all'ombra o in un luogo fresco per consentirne il raffreddamento.
- Non utilizzare la custodia a una profondità superiore a 1,5 m.

Rimuovere eventuali residui di olio solare sulla custodia con acqua tiepida. La presenza prolungata di olio solare sulla superficie della custodia può provocarne lo scolorimento o altri danni, ad esempio crepe sulla superficie.

Infiltrazioni d'acqua

Se si verificano infiltrazioni d'acqua, terminare immediatamente l'esposizione all'acqua della custodia.
Se la fotocamera digitale dovesse bagnarsi, consegnarla subito al rivenditore Sony di zona.
I costi di riparazione sono a carico del cliente.

Uso della guarnizione toroidale

Informazioni sulla guarnizione toroidale

La guarnizione toroidale Ⓐ assicura le proprietà di resistenza all'acqua della custodia o di altre attrezzature simili (vedere l'illustrazione A).

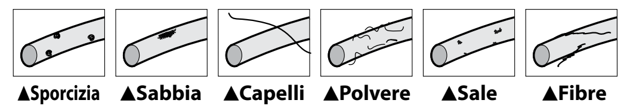
La manutenzione della guarnizione toroidale è estremamente importante. La mancata esecuzione della manutenzione della guarnizione toroidale come previsto nelle istruzioni potrebbe provocare infiltrazioni d'acqua e il mancato galleggiamento della custodia.

Uso della guarnizione toroidale

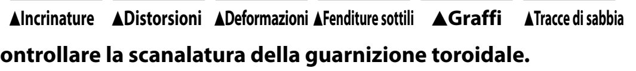
Posizionamento della guarnizione toroidale

Evitare di posizionare la guarnizione toroidale in luoghi polverosi o sabbiosi.

1. **Rimuovere la guarnizione toroidale Ⓑ (vedere l'illustrazione B).**
   - È possibile rimuovere la guarnizione toroidale premendola leggermente e facendola scorrere nella direzione della freccia, come mostrato nell'illustrazione. La guarnizione toroidale ha sufficiente gioco nella scanalatura e può quindi essere rimossa facilmente.
     Assicurarsi di non graffiare la guarnizione toroidale con le unghie.
   - Non utilizzare oggetti appuntiti o metallici per rimuovere la guarnizione toroidale. Tali oggetti potrebbero graffiare o danneggiare la scanalatura della custodia oppure la guarnizione toroidale.
2. **Controllare la guarnizione toroidale.**
   - Eseguire le seguenti verifiche. Se necessario, pulire con un panno morbido o con un fazzoletto di carta.
     - Assicurarsi che sulla guarnizione toroidale non siano presenti sporcizia, sabbia, capelli, polvere, sale, fibre e simili.
     - Assicurarsi che sulla guarnizione toroidale non siano presenti residui di lubrificante.



   - Passare un dito intorno alla guarnizione toroidale per verificare che non siano presenti tracce di sporcizia invisibile.
   - Assicurarsi di non lasciare fibre di tessuto o di carta sulla guarnizione toroidale dopo averla pulita.
   - Controllare che sulla guarnizione toroidale non siano presenti incrinature, distorsioni, deformazioni, fenditure sottili, graffi, tracce di sabbia e simili. Nel caso in cui si rilevino graffi o incrinature, sostituire la guarnizione toroidale.



3. **Controllare la scanalatura della guarnizione toroidale.**
   Granelli di sabbia o sale indurito talvolta si depositano nella scanalatura. Rimuoverli attentamente utilizzando uno spray ad aria o pulendoli con un bastoncino di cotone. Assicurarsi di non lasciare all'interno alcuna fibra proveniente dal bastoncino.
4. **Controllare la superficie di contatto sull'altra parte della guarnizione toroidale esattamente nello stesso modo.**
5. **Inserire la guarnizione toroidale nella scanalatura della custodia.**
   Posizionare correttamente la guarnizione toroidale nella scanalatura assicurandosi di effettuare le seguenti verifiche:
   - Controllare che non siano presenti tracce di sporcizia sulla guarnizione toroidale.
   - Controllare che la guarnizione toroidale non sia attorcigliata (vedere l'illustrazione C).

Controllo da eseguire sulla guarnizione toroidale

Prima di inserire l'apparecchio nella custodia, chiudere la custodia e immergerla in acqua ad una profondità approssimativa di 15 cm per circa tre minuti e controllare che l'acqua non penetri all'interno.

Manutenzione

Se si lascia asciugare la custodia senza avere lavato l'acqua di mare dalla scanalatura della guarnizione toroidale, si formano cristalli di sale che potrebbero danneggiare il funzionamento della guarnizione toroidale.

Durata della guarnizione toroidale

La durata della guarnizione toroidale varia a seconda della frequenza e delle condizioni di impiego della custodia. Generalmente, la durata media è di circa un anno.
Anche se la guarnizione toroidale non presenta incrinature o graffi, la deformazione e l'usura ne riducono le qualità di resistenza all'acqua. Se si rilevano incrinature, distorsioni, deformazioni, fenditure sottili, graffi, tracce di sabbia e simili, sostituire immediatamente la guarnizione toroidale con una nuova.
Dopo la sostituzione, verificare che non ci siano infiltrazioni d'acqua.

Soluzione antiappannamento

Applicare la soluzione antiappannamento in dotazione sulla superficie del vetro. Si tratta di un efficace sistema antiappannamento.

- Uso della soluzione antiappannamento
  Applicare uniformemente la soluzione sulla parte interna del vetro anteriore con un bastoncino umido, un panno morbido o un fazzoletto di carta.

Guarnizione toroidale e soluzione antiappannamento

È possibile acquistare la guarnizione toroidale e la soluzione antiappannamento presso un rivenditore Sony.
Guarnizione toroidale (modello n. 4-116-279-01)
Soluzione antiappannamento (modello n. 3-072-039-01)

Manutenzione

- Dopo avere registrato in luoghi esposti a salmastro, lavare accuratamente la custodia con acqua dolce, tenendo il coperchio chiuso, per rimuovere sale e sabbia, quindi asciugarla con un panno morbido asciutto.
- Rimuovere eventuali residui di olio solare sulla custodia con acqua tiepida.
- Pulire l'interno della custodia con un panno morbido asciutto. Non lavare l'interno della custodia.

Assicurarsi di eseguire le operazioni di manutenzione di cui sopra ogni volta che si usa la custodia. Non utilizzare alcun tipo di solvente come alcol, benzina o solventi per la pulizia, poiché tali prodotti potrebbero danneggiare la finitura della superficie della custodia.

Conservazione della custodia

- Non chiudere il coperchio della custodia per evitare l'usura della guarnizione toroidale.
- Evitare che si accumuli polvere sulla guarnizione toroidale.
- Evitare di riporre la custodia in luoghi freddi, estremamente caldi o umidi, oppure insieme a naftalina o canfora, poiché tali condizioni possono danneggiare l'unità.

Guida alla soluzione di problemi

Sintomo	Causa/Rimedi
Sono presenti gocce d'acqua all'interno della custodia.	• Sono presenti graffi o incrinature sulla guarnizione toroidale. → Sostituire la guarnizione toroidale con una nuova. • La guarnizione toroidale non è stata inserita correttamente. → Inserire accuratamente la guarnizione toroidale nell'apposita scanalatura. • Il coperchio non è chiuso saldamente. → Chiudere il coperchio finché non scatta in posizione.
La funzione di registrazione non si attiva.	• Il blocco batteria è scarico. → Caricare completamente il blocco batteria. • La "Memory Stick Duo" è piena. → Inserire un'altra "Memory Stick Duo" oppure cancellare i dati non necessari dalla "Memory Stick Duo". • La linguetta di protezione dalla scrittura della "Memory Stick Duo" è impostata su LOCK. → Impostare la linguetta sulla posizione di registrazione oppure inserire una "Memory Stick Duo" nuova.

Português

Precauções

- Não sujeite o vidro frontal a choques fortes, pois pode parti-lo.
- Evite abrir a caixa na água ou na sua proximidade. A preparação como, por exemplo, a instalação da câmara digital e a mudança do "Memory Stick Duo", deve ser feita num espaço interior e com humidade baixa.
- Não atire a caixa para dentro de água.
- Evite utilizar a caixa nas seguintes situações:
  - num local muito quente ou húmido.
  - dentro de água quente com uma temperatura superior a 40 °C.
  - em locais com temperaturas inferiores a 0 °C.

  Nestas situações, o equipamento pode ficar danificado devido à condensação de humidade ou a infiltrações.
- Não utilize a caixa por períodos superiores a 30 minutos, de uma vez, a temperaturas superiores a 35 °C.
- Tenha cuidado para não deixar a câmara digital cair quando a retirar ou colocar dentro da caixa.
- Não deixe a caixa exposta à acção directa dos raios solares, num local muito quente e húmido, durante muito tempo. Se tiver que a deixar ao sol, tape-a com uma toalha ou com outra protecção.
- A câmara digital aquece, quando é utilizada dentro da caixa durante um longo período de tempo. Antes de retirar a câmara digital da caixa, deixe a caixa à sombra ou noutro local fresco durante algum tempo para arrefecer.
- Não utilize a caixa a profundidades superiores a 1,5 m.

Se sujar a caixa com protector solar, lave-a cuidadosamente com água morna. Se deixar protector solar na caixa, a superfície da caixa pode perder a cor ou danificar-se (por exemplo, rachas na superfície).

Infiltrações

Se deixar entrar água, retire imediatamente a caixa.
Se a câmara digital se molhar, leve-a imediatamente ao agente Sony mais próximo.
Os custos de reparação são suportados pelo cliente.

Manusear o anel de vedação

O que é um anel de vedação?

O anel de vedação Ⓐ assegura as qualidades impermeáveis da caixa ou de outro equipamento. (Consulte a figura A)

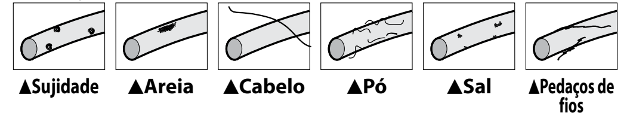
A manutenção do anel de vedação é muito importante. O não cumprimento da manutenção do anel de vedação de acordo com as instruções, pode provocar infiltrações e o afundamento da caixa.

Manusear o anel de vedação

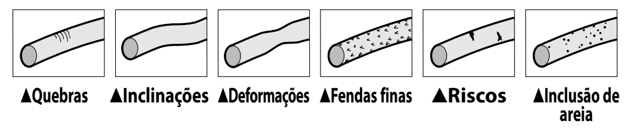
Encaixar o anel de vedação

Evite encaixar o anel de vedação em locais com areia ou poeira.

1. **Retire o anel de vedação Ⓑ. (Consulte a figura B)**
   - Pode retirar facilmente o anel de vedação, levantando-o na direcção da seta, como se mostra na figura. O anel de vedação tem uma folga suficiente para poder retirá-lo com facilidade.
     Tenha cuidado para não riscar o anel de vedação com as unhas.
   - Não utilize um objecto de metal ou pontiagudo para retirar o anel de vedação. Este tipo de objectos pode riscar ou danificar as estrias da caixa ou do anel de vedação.
2. **Verifique o anel de vedação.**
   - Verifique cuidadosamente o seguinte. Se necessário, limpe com um pano macio ou um lenço de papel.
     - Há alguma sujidade, areia, cabelo, pó, sal, pedaços de fios, etc. no anel de vedação?
     - Há alguma massa lubrificante velha no anel de vedação?



   - Passe ligeiramente a ponta do dedo à volta do anel de vedação para verificar se existe sujidade invisível.
   - Tenha cuidado para não deixar restos de fibras do pano ou do lenço de papel no anel de vedação, depois de o limpar.
   - Verifique se o anel de vedação está riscado, deformado, distorcido, apresenta fendas finas, rachas, areia no interior, etc. Substitua-o se estiver rachado ou riscado.



3. **Verifique as estrias do anel de vedação.**
   Por vezes, grãos de areia ou de sal entram nas estrias. Retire-os com cuidado, utilizando um aerossol ou limpando com um cotonete. Tenha cuidado para não deixar restos de fibras do cotonete no interior.
4. **Verifique a superfície de contacto do outro lado do anel de vedação da mesma forma.**
5. **Encaixe o anel de vedação nas estrias da caixa.**
   Encaixe o anel de vedação nas estrias de forma uniforme, tendo em conta os seguintes pontos:
   - Verifique se o anel de vedação está limpo.
   - Verifique se o anel de vedação não está torcido. (Consulte a figura C)

Como verificar o anel de vedação

Antes de instalar o equipamento na caixa, feche a caixa e mergulhe-a em água a uma profundidade de cerca de 15 cm, durante aproximadamente três minutos e verifique se existem infiltrações.

Manutenção

Se deixar a caixa secar sem limpar a água salgada das estrias do anel de vedação, formam-se cristais de sal que podem danificar o anel.

Duração do anel de vedação

A duração do anel de vedação varia com a frequência e condições de utilização da caixa. A duração é, geralmente, de cerca de um ano.
Mesmo que o anel de vedação não esteja rachado nem riscado, a deformação ou o desgaste reduzem a sua impermeabilidade. Se o anel de vedação estiver torto, deformado, riscado, apresentar rachas ou fendas finas, tiver areia, etc., substitua-o por um novo.
Depois de a substituir, verifique se não deixa entrar água.

Líquido anti-embaciamento para a lente

Limpe a superfície do vidro com o líquido anti-embaciamento fornecido. Este líquido impede o embaciamento da lente.

- Como utilizar o líquido anti-embaciamento para a lente
  Limpe uniformemente o interior do vidro frontal com um cotonete, um pano macio ou lenço de papel embebido no líquido.

Anel de vedação e líquido anti-embaciamento para a lente

Pode adquirir o anel de vedação e o líquido anti-embaciamento para a lente no agente Sony mais próximo.
Anel de vedação (modelo nº 4-116-279-01)
Líquido anti-embaciamento para a lente (modelo nº 3-072-039-01)

Manutenção

- Depois de gravar num local perto do mar, lave bem a caixa com água doce com os fechos apertados para retirar o sal e a areia e depois seque-a com um pano macio seco.
- Se sujar a caixa com protector solar, lave-a cuidadosamente com água morna.
- Limpe o interior da caixa com um pano macio seco. Não lave o interior da caixa.

Sempre que utilizar a caixa, efectue a manutenção indicada acima. Não a limpe com nenhum tipo de solvente, como álcool, benzina ou diluente, pois pode danificar o acabamento respectivo.

Quando guardar a caixa

- Não feche a tampa da caixa para não desgastar o anel de vedação.
- Não deixe acumular pó no anel de vedação.
- Evite guardar a caixa num local demasiado frio, quente ou húmido ou juntamente com naftalina ou cânfora, pois pode danificá-la.

Resolução de problemas

Sintoma	Causa/Acções correctivas
Há gotas de água no interior da caixa.	• O anel de vedação tem riscos ou rachas. → Substitua o anel de vedação por um novo. • O anel de vedação não está correctamente colocado. → Coloque o anel de vedação uniformemente na estria. • A tampa não está bem fechada. → Feche a tampa até ouvir um estalido.
A função de gravação não funciona.	• A bateria não tem carga. → Carregue totalmente a bateria. • O "Memory Stick Duo" está cheio. → Introduza outro "Memory Stick Duo" ou apague os dados desnecessários do "Memory Stick Duo." • A patilha de protecção contra desgravação do "Memory Stick Duo" está na posição LOCK. → Coloque-a na posição de gravação ou introduza um novo "Memory Stick Duo."

Русский

Предосторожности

- Не следует подвергать переднее стекло сильным ударам, чтобы не повредить его.
- Не следует открывать футляр вблизи или над водой. Подготовительные операции, такие как установка цифровой фотокамеры и замена платы памяти "Memory Stick Duo", следует выполнять в помещении пониженной влажности.
- Не допускается сбросить футляр в воду.
- Не допускается использовать футляр в следующих условиях:
  - в местах повышенной температуры или влажности воздуха;
  - в воде температурой свыше 40˚C;
  - при температуре воздуха ниже 0˚C.

  В таких условиях может вызываться конденсация влаги или протечка воды внутрь футляра, что приводит к повреждению фотокамеры.
- Футляр с фотокамерой допускается эксплуатировать не более 30 минут подряд при температуре свыше 35˚C.
- При установке и снятии цифровой фотокамеры из футляра надо соблюдать осторожность, чтобы не уронить фотокамеру.
- Не следует оставлять футляр длительное время в местах, подвергаемых воздействию прямой солнечной радиации, в условиях повышенной температуры и влажности окружающего воздуха. В случае надобности оставлять футляр с фотокамерой под прямыми солнечными лучами, необходимо покрыть футляр полотенцем или др. покровным материалом.
- Цифровая фотокамера может перегреваться при ее работе внутри футляра в течение длительного времени. Перед снятием цифровой фотокамеры из футляра рекомендуется оставлять футляр некоторое время в тени или др. прохладном месте, чтобы дать ему охладиться.
- Не допускается использовать футляр на глубине более 1,5 м под водой.

Если косметическое масло от загара попало на футляр, надо очистить футляра от масла полностью, промывая его в тепловатой воде. Надо помнить, что попавшее на поверхность футляра косметическое масло может привести к выцветанию или повреждению футляра (такому как трещины на его поверхности).

Протечка воды

При обнаружении протечки воды внутрь футляра обязательно надо остановить работу под водой незамедлительно.
При увлажнении цифровой фотокамеры рекомендуется консультироваться с ближайшим дилером фирмы Sony.
При этом расходы на ремонт фотокамеры должны быть оплачены покупателем.

Обращение с уплотнительным кольцом

Что такое уплотнительное кольцо ?

Уплотнительное кольцо Ⓐ служит для обеспечения герметичности футляра или др. аппаратуры. (См. рисунок A)

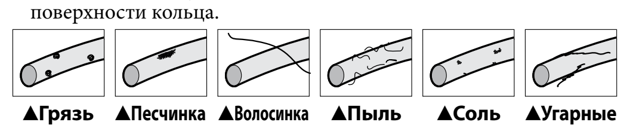
Очень важно тщательное выполнение технического ухода за уплотнительным кольцом. Несоблюдение приведенных ниже указаний по уходу за кольцом может вызывать утечку воды и приводить к затоплению футляра.

Обращение с уплотнительным кольцом

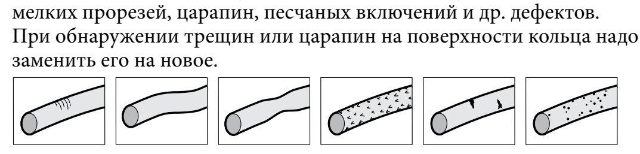
Посадка уплотнительного кольца

Не допускается выполнить посадку уплотнительного кольца в запыленном или песчаном месте.

1. **Удалите уплотнительное кольцо Ⓑ. (См. рисунок B)**
   - Для удаления уплотнительного кольца слегка нажмите и переместите его в направлении стрелки, как показано на рисунке. Кольцо будет ослаблено достаточно для того, чтобы легко удалить его. При этом надо быть осторожны, чтобы не царапать ногтями кольцо.
   - Не следует применять остроконечные или металлические предметы для удаления кольца. Эти предметы могут царапать или повреждать канавку под посадку кольца в футляре или самое кольцо.
2. **Проверьте уплотнительное кольцо.**
   - Тщательно убедитесь в отсутствии загрязнений. Если обнаружены загрязнения, вытирайте кольцо мягкой ветошью или гигиенической бумагой.
     - Проверьте на отсутствие грязи, песчинок, волосинок, пыли, солей, угарных ниток на поверхности кольца.
     - Проверьте на отсутствие старевшей консистентной смазки на поверхности кольца.



   - Слегка касаясь пальцем по уплотнительному кольцу, проверьте на отсутствие невидимых загрязнений.
   - После вытирания кольца надо убедиться, что никакие волокна ветоши или бумаги не оставлены на поверхности кольца.
   - Проверьте кольцо на отсутствие трещин, перекручения, искажения, мелких прорезей, царапин, песчаных включений и др. дефектов.
     При обнаружении трещин или царапин на поверхности кольца надо заменить его на новое.



3. **Проверьте канавку под посадку кольца.**
   Песчинки или затвердившие зерна соли могут попасть внутрь канавки. Тщательно очистите канавку от них, продувая канавку струей сжатого воздуха или вытирая ее хлопчатобумажным тампоном. При этом надо быть осторожны, чтобы мелкие кусочки волокна тампона не были оставлены в канавке.
4. **Проверьте также контактную поверхность с другой стороны в одном и том же порядке.**
5. **Посадите уплотнительное кольцо в канавку футляра.**
   Посадку кольца надо произвести равномерно в канавку, обращая внимание на следующее:
   - отсутствие загрязнений на поверхности кольца;
   - отсутствие перекручения кольца. (См. рисунок C)

Как проверить уплотнительное кольцо

Перед установкой аппаратуры в футляр закройте футляр, погрузите его в воду до глубины 15 см приблизительно за три минуты и проверьте на отсутствие утечки воды.

Указания по уходу

В случае, если футляр высушивается без удаления морской воды из канавки под посадку кольца, то может происходить кристаллизация соли, что приводит к ухудшению работоспособности кольца.

Срок годности уплотнительного кольца

Срок годности кольца устанавливается в зависимости от частоты пользования и др. условий работы футляра. При нормальных условиях работы срок годности кольца принимается около 1 года.
Даже при отсутствии трещин и царапин на кольце, деформация или изнашивание может снижать водонепроницаемую способность кольца. Необходимо заменить кольцо на новое при обнаружении трещин, перекручения, искажения, мелких прорезей, царапин, песчаных включений и др. подобных дефектов.
После замены кольца на новое нужно убедиться в отсутствии утечки воды через него.

Противотуманный раствор для объектива

На поверхность объектива рекомендуется нанести противотуманный раствор, поставляемый в комплекте с футляром. Раствор позволяет эффективно предотвратить запотевание объектива.

- Как применять противотуманный раствор
  Равномерно протирайте внутреннюю поверхность переднего стекла с помощью мягкой тряпки, ветоши или гигиенической бумаги, смоченной очистительным раствором.

Уплотнительное кольцо и противотуманный раствор

Для приобретения уплотнительного кольца и противотуманного раствора для объектива обращайтесь к ближайшему дилеру фирмы Sony.
Уплотнительное кольцо (модели № 4-116-279-01)
Противотуманный раствор (модели № 3-072-039-01)

Уход за уплотнительным кольцом

- После использования на морском ветре тщательно промойте футляр с закрытой крышкой в пресной воде, чтобы очистить его от попавших на него песчинок и соляных кристаллов, и затем вытрите его мягкой сухой ветошью.
- В случае, если масло от загара оставлено на поверхности футляра, обязательно надо промыть начисто в пресной тепловатой воде.
- Внутренняя очистка футляра должна производиться с помощью сухой мягкой ветоши. Не следует промывать водой внутреннюю часть футляра.

Указанные выше операции ухода за футляром рекомендуется выполнять после каждого использования футляра. Для очистки футляра не следует применять такие маслорастворители, как спирт, бензин или разбавитель для хим. чистки, поскольку они могут вызывать повреждения поверхностной отделки футляра.

При хранении футляра

- Для предотвращения износа уплотнительного кольца не следует закрывать крышку футляра.
- Следует предотвратить скопление пыли на поверхности футляра.
- Избежайте хранения футляра в холодном, очень горячем или влажном месте, а также вместе с нафталином или камфорой, так как такие условия могут привести к повреждению футляра.

Поиск и устранение неисправностей

Признак	Причина/мера устранения
Попадание капелек воды внутрь футляра.	• Образование царапин и трещин в уплотнительном кольце → Заменить дефектое кольцо на новое. • Неправильная посадка уплотнительного кольца → Расположить кольцо равномерно по канавке под его посадку. • Ненадежное закрытие крышки → Закрыть крышку до ее щелчка.
Не действует функция записи.	• Батарейный блок разряжен. → Зарядить батарейный блок полностью. • Переполнение памяти "Memory Stick Duo" → Вставить другую плату "Memory Stick Duo" или стирать ненужные данные из "Memory Stick Duo". • Ручка запрещения записи в плате "Memory Stick Duo" поставлена в положение LOCK. → Поставить ручку в положение записи или вставить новую плату "Memory Stick Duo".

Изготовитель: Сони Корпорейшн
Адрес: 1-7-1 Конан, Минато-ку,
Токио, 108-0075 Япония
Страна-производитель: Япония

中文（繁）

使用須知

- 請勿使前防護面鏡遭受強烈撞擊，否則可能導致玻璃破碎。
- 請勿靠近水源或在水上打開外罩。安裝數位相機及更換“Memory Stick Duo”等準備工作應該在低溫度的室內進行。
- 請勿將外罩擲於水中。
- 請勿在下列情況下使用外罩：
  - 在非常濕熱的地方。
  - 在溫度高於40℃的水中。
  - 在溫度低於0℃的地方。

  在這些情況下有可能產生濕氣凝結或漏水，導致設備損壞。
- 溫度在35℃以上時，每次使用外罩的時間不要超過30分鐘。
- 請注意，在將數位相機放入外罩或將其從外罩中取出時，不要讓數位相機掉落。
- 請勿將外罩長時間放置在直射的陽光下或非常濕熱的地方。如果不得不將外罩放在直射的陽光下，務必用毛巾或其他防護物品蓋住外罩。
- 數位相機長時間裝在外罩中使用會變熱。請將外罩在庇蔭處或其他涼爽的地方放置片刻，待其冷卻，然後再將數位相機從外罩中取出。
- 請勿在1.5m的水下使用外罩。

如果外罩上沾上了防晒油，務必用溫水徹底清洗。如果防晒油留在外罩上，有可能導致其表面變色或損壞（如表面裂紋）。

漏水

漏水如果發生漏水現象，請立即將外罩從水中取出。
如果數位相機進水，請立即將其送至最近的Sony經銷商處。修理費用須由顧客自行承擔。

O形環的使用

何為O形環?

O形環Ⓐ可以確保防水外罩及其他設備的防水質量。（參見圖A）

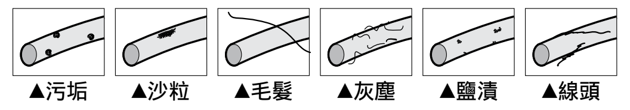
O形環的保養極其重要。如果不按說明書進行O形環的保養，有可能導致漏水，外罩被浸濕。

O形環的使用

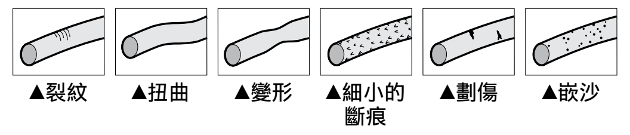
安裝O形環

請勿在多塵或多沙的地方安裝O形環。

1. **取下O形環Ⓑ。（參見圖B）**
   - 要取下O形環，輕輕將其按住並按圖示的箭頭方向滑動。O形環具有足夠的鬆弛度，能夠被輕鬆地取下。請注意不要用指甲劃傷O形環。
   - 請勿使用尖頭或金屬物件取下O形環。此類物件有可能劃傷或損壞外罩的凹槽或O形環。
2. **檢查O形環。**
   - 請仔細檢查下列項目。如有發現，請用軟布或紙巾擦拭乾淨。
     - O形環上是否有污垢、沙粒、毛髮、灰塵、鹽漬、線頭等?
     - O形環上是否有殘留潤滑脂?



   - 用指尖沿O形環輕輕滑動，檢查是否有肉眼看不見的污垢。
   - 請注意，擦拭後，不要讓布絲或紙巾纖維殘留在O形環上。
   - 檢查O形環是否有裂紋、扭曲、變形、細小的斷痕、劃傷及嵌沙等。如果有裂紋或劃傷請更換O形環。



3. **檢查O形環凹槽。**
   沙粒或乾硬的鹽漬有時會進入凹槽。請小心地用吹風機將其吹出或用棉簽將其清除。請注意，不要讓棉簽的纖維留在凹槽內。
4. **用同樣的方法，檢查O形環另一側的接觸面。**
5. **將O形環裝入外罩的凹槽。**
   將O形環均勻地裝入凹槽，安裝時請注意以下幾點：
   - 檢查O形環上的污垢。
   - 檢查O形環沒有扭曲。（參見圖C）

如何檢查O形環

將此設備裝入防水外罩之前，關閉防水外罩並將其浸入約15cm深的水中3分鐘左右，確認無漏水現象。

保養

如果在海水留在O形環凹槽的情況下晾乾外罩，海水會形成鹽晶，可能影響O形環的功能。

O形環的使用壽命

O形環的使用壽命因外罩的使用頻率和使用條件而異。通常約為一年。
即使O形環無裂紋或劃傷，變形或磨損也會降低其防水質量。如產生裂紋、扭曲、變形、細小的斷痕、劃傷及嵌沙等現象，請更換O形環。
更換後，要確認無漏水現象。

鏡頭防霧溶液

在面鏡表面塗上隨附的鏡頭防霧溶液。這可有效地防止霧氣形成。

- 如何使用鏡頭防霧溶液
  用清潔溶液浸濕的棉簽、軟布或紙巾均勻擦拭前防護面鏡內部。

O形環及鏡頭防霧溶液

可在最近的Sony經銷商處購買O形環及鏡頭防霧溶液。
O形環（型號：4-116-279-01）
鏡頭防霧溶液（型號：3-072-039-01）

保養

- 在有海風的場所拍攝後，應將罩蓋關閉，用淡水徹底清洗外罩以清除鹽分和沙子，然後用柔軟的乾布擦拭。
- 如果外罩上沾上了防晒油，務必用溫水徹底清洗乾淨。
- 請用柔軟的乾布清潔外罩的內部。請勿清洗外罩的內部。

每次使用外罩後都應進行上述保養。請勿使用諸如酒精、汽油或稀釋劑等任何類型的溶劑進行清潔，否則會損壞外罩表面的拋光層。

存放外罩

- 不要關閉外罩的罩蓋以防止O形環磨損。
- 防止灰塵積在O形環上。
- 請勿將外罩存放在寒冷、高溫或潮濕的地方，或將其與衛生球、樟腦丸等一同存放，否則可能損壞外罩。

故障排除

問題	原因/修正措施
外罩內部進水。	• O形環上有劃傷或裂紋。 → 更換新的O形環。 • O形環安置不正確。 → 將O形環均勻地安放在凹槽內。 • 罩蓋沒有關緊。 → 關閉罩蓋直至其發出“喀嗒”聲。
拍攝功能不起作用。	• 電池組電量耗盡。 → 將電池充滿電。 • “Memory Stick Duo”容量已滿。 → 插入另一個“Memory Stick Duo”或刪除“Memory Stick Duo”中不需要的資料。 • “Memory Stick Duo”的寫保護片置於LOCK位置。 → 將保護片置於拍攝位置或插入新的“Memory Stick Duo”。

中文（简）

使用须知

- 请勿使前防护面镜遭受强烈撞击，否则可能导致玻璃破碎。
- 请勿靠近水源或在水上打开套装。安装数码相机及更换“Memory Stick Duo”等准备工作应该在低温度的室内进行。
- 请勿将套装掷于水中。
- 请勿在下列情况下使用套装：
  - 在非常湿热的地方。
  - 在温度高于40℃的水中。
  - 在温度低于0℃的地方。

  在这些情况下有可能产生湿气凝结或漏水，导致设备损坏。
- 温度在35℃以上时，每次使用套装的时间不要超过30分钟。
- 请注意，在将数码相机放入套装或将其从套装中取出时，不要让数码相机掉落。
- 请勿将套装长时间放置在直射的阳光下或非常湿热的地方。如果不得不将套装放在直射的阳光下，务必用毛巾或其他防护物品盖住套装。
- 数码相机长时间装在套装中使用会变热。请将套装在庇荫处或其他凉爽的地方放置片刻，待其冷却，然后再将数码相机从套装中取出。
- 请勿在1.5m的水下使用套装。

如果套装上沾上了防晒油，务必用温水彻底清洗。如果防晒油留在套装上，有可能导致其表面变色或损坏（如表面裂纹）。

漏水

如果发生漏水现象，请立即将套装从水中取出。
如果数码相机进水，请立即将其送至最近的Sony经销商处。修理费用须由顾客自行承担。

O形环的使用

何为O形环?

O形环Ⓐ可以确保防水套装及其他设备的防水质量。（参见图A）

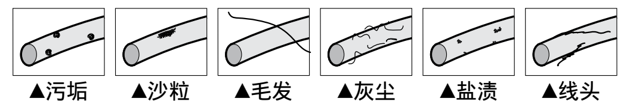
O形环的保养极其重要。如果不按说明书进行O形环的保养，有可能导致漏水，套装被浸湿。

O形环的使用

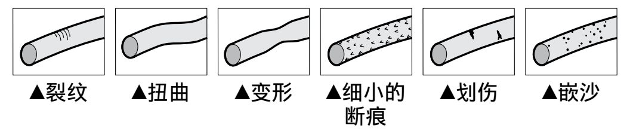
安装O形环

请勿在多尘或多沙的地方安装O形环。

1. **取下O形环Ⓑ。（参见图B）**
   - 要取下O形环，轻轻将其按住并按图示的箭头方向滑动。O形环具有足够的松弛度，能够被轻松地取下。请注意不要用指甲划伤O形环。
   - 请勿使用尖头或金属物件取下O形环。此类物件有可能划伤或损坏套装的凹槽或O形环。
2. **检查O形环。**
   - 请仔细检查下列项目。如有发现，请用软布或纸巾擦拭干净。
     - O形环上是否有污垢、沙粒、毛发、灰尘、盐渍、线头等?
     - O形环上是否有残留润滑脂?



   - 用指尖沿O形环轻轻滑动，检查是否有肉眼看不见的污垢。
   - 请注意，擦拭后，不要让布丝或纸巾纤维残留在O形环上。
   - 检查O形环是否有裂纹、扭曲、变形、细小的断痕、划伤及嵌沙等。如果有裂纹或划伤请更换O形环。



3. **检查O形环凹槽。**
   沙粒或干硬的盐渍有时会进入凹槽。请小心地用吹风机将其吹出或用棉签将其清除。请注意，不要让棉签的纤维留在凹槽内。
4. **用同样的方法，检查O形环另一侧的接触面。**
5. **将O形环装入套装的凹槽。**
   将O形环均匀地装入凹槽，安装时请注意以下几点：
   - 检查O形环上的污垢。
   - 检查O形环没有扭曲。（参见图C）

如何检查O形环

将此设备装入防水套装之前，关闭防水套装并将其浸入约15cm深的水中3分钟左右，确认无漏水现象。

保养

如果在海水留在O形环凹槽的情况下晾干套装，海水会形成盐晶，可能影响O形环的功能。

O形环的使用寿命

O形环的使用寿命因套装的使用频率和使用条件而异。通常约为一年。
即使O形环无裂纹或划伤，变形或磨损也会降低其防水质量。如产生裂纹、扭曲、变形、细小的断痕、划伤及嵌沙等现象，请更换O形环。
更换后，要确认无漏水现象。

镜头防雾溶液

在面镜表面涂上随附的镜头防雾溶液。这可有效地防止雾气形成。

- 如何使用镜头防雾溶液
  用清洁溶液浸湿的棉签、软布或纸巾均匀擦拭前防护面镜内部。

O形环及镜头防雾溶液

可在最近的Sony经销商处购买O形环及镜头防雾溶液。
O形环（型号：4-116-279-01）
镜头防雾溶液（型号：3-072-039-01）

保养

- 在有海风的场所拍摄后，应将罩盖关闭，用淡水彻底清洗套装以清除盐分和沙子，然后用柔软的干布擦拭。
- 如果套装上沾上了防晒油，务必用温水彻底清洗干净。
- 请用柔软的干布清洁套装的内部。请勿清洗套装的内部。

每次使用套装后都应进行上述保养。请勿使用诸如酒精、汽油或稀释剂等任何类型的溶剂进行清洁，否则会损坏套装表面的抛光层。

存放套装

- 不要关闭套装的罩盖以防止O形环磨损。
- 防止灰尘积在O形环上。
- 请勿将套装存放在寒冷、高温或潮湿的地方，或将其与卫生球、樟脑丸等一同存放，否则可能损坏套装。

故障排除

问题	原因/修正措施
套装内部进水。	• O形环上有划伤或裂纹。 → 更换新的O形环。 • O形环安置不正确。 → 将O形环均匀地安放在凹槽内。 • 罩盖没有关紧。 → 关闭罩盖直至其发出“咔嗒”声。
拍摄功能不起作用。	• 电池组电量耗尽。 → 将电池充满电。 • “Memory Stick Duo”容量已满。 → 插入另一个“Memory Stick Duo”或删除“Memory Stick Duo”中不需要的数据。 • “Memory Stick Duo”的写保护片置于LOCK位置。 → 将保护片置于拍摄位置或插入新的“Memory Stick Duo”。

索尼公司
版次：2008年7月

한국어

사용상의 주의

- 앞 유리에 충격을 가하면 깨지는 원인이 되므로 주의하십시오.
- 물가나 물 위에서 케이스를 열지 마십시오. 디지털 스틸 카메라를 장착하거나 "Memory Stick Duo"를 교체하는 등의 준비 작업은 습도가 낮은 실내에서 하십시오.
- 물 속에 케이스를 던져 넣지 마십시오.
- 다음과 같은 장소에서는 케이스를 사용하지 마십시오.
  - 고온 다습한 장소.
  - 40 °C 이상인 수중.
  - 온도가 0 °C 미만인 장소.

  이런 상황에서는 결로 현상이나 누수 현상이 생기거나 기기가 손상될 염려가 있습니다.
- 35 °C 이상인 온도에서는 케이스를 30분 이상 계속해서 사용하지 마십시오.
- 케이스에 디지털 스틸 카메라를 넣거나 꺼낼 때에는 떨어뜨리지 않도록 주의하십시오.
- 케이스는 직사광선이 닿는 장소나 고온 다습한 장소에 오랫동안 두지 마십시오. 부득이 직사광선이 닿은 장소에 케이스를 두어야 하는 경우는 반드시 타월 등으로 케이스를 덮어 놓으십시오.
- 케이스에 디지털 스틸 카메라를 장착하고 장시간 사용하면 디지털 스틸 카메라가 과열됩니다. 케이스에서 디지털 스틸 카메라를 꺼내기 전에 케이스를 응달 등 선선한 장소에 두고 식혀 주십시오.
- 수심 1.5 m 이상 되는 곳에서 케이스를 사용하지 마십시오.

케이스에 선탠 오일 등이 묻었을 때에는 반드시 미지근한 물로 깨끗이 닦아내십시오. 본체에 선탠 오일이 묻은 채 케이스를 방치하면 케이스 표면이 변색되거나 손상(표면이 갈라지는 등)될 염려가 있습니다.

누수

누수되었을 때에는 즉시 케이스를 물에서 꺼내십시오.
디지털 스틸 카메라가 젖었을 때에는 즉시 가까운 Sony 판매점으로 지참하십시오. 수리 비용은 고객님 부담입니다.

O링의 취급

O링이란?

O링은 Ⓐ 케이스나 다른 기기의 방수 기능을 확보하는 것입니다.(그림 A 참조)

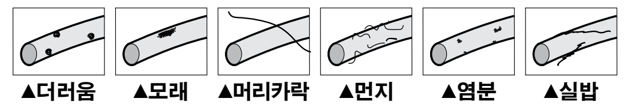
O링의 손질은 매우 중요합니다. O링을 설명서대로 손질하지 않으면 물이 새서 케이스가 잠기게 되는 경우가 있습니다.

O링의 취급

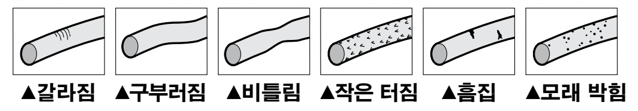
O링 끼우기

O링은 먼지나 모래가 많은 장소에서 끼우지 마십시오.

1. **O링을 뺍니다Ⓑ.(그림 B 참조)**
   - O링을 빼려면 가볍게 눌러서 그림과 같이 화살표 방향으로 미십시오. O링은 여유가 있으므로 간단히 뺄 수 있습니다.손톱으로 O링에 흠집을 내지 않도록 주의하십시오.
   - O링을 뺄 때에는 끝이 뾰족한 물건이나 금속을 사용하지 마십시오. 케이스의 홈이나 O링에 흠집을 내거나 손상시킬 염려가 있습니다.
2. **O링을 점검합니다.**
   - 다음과 같은 물건이 없는지 주의해서 확인하십시오. 다음과 같은 물건이 있을 때에는 부드러운 헝겊이나 티슈 페이퍼로 닦아내십시오.
     - O링에 더러움이나 모래, 머리카락, 먼지, 염분, 실밥 등이 붙어 있습니까?
     - O링에 오래 된 그리스가 남아있습니까?



   - O링을 손끝으로 가볍게 만져보고 눈에 보이지 않는 더러움이 없는지 확인하십시오.
   - 헝겊이나 티슈 페이퍼로 O링을 닦은 후에는 헝겊이나 티슈 페이퍼의 섬유를 남기지 않도록 주의하십시오.
   - O링에 갈라짐, 구부러짐, 비틀림, 작은 터짐, 흠집, 모래 박힘 등이 없는지 확인하십시오. 갈라짐이나 흠집이 있을 때에는 O링을 교체하십시오.



3. **O링의 홈을 점검합니다.**
   홈에 모래알이나 소금 결정이 들어있는 경우가 있습니다. 에어 스프레이나 면봉으로 조심해서 제거하십시오. 안쪽에 면봉의 섬유를 남기지 않도록 주의하십시오.
4. **O링의 반대쪽 접촉면도 마찬가지로 점검합니다.**
5. **O링을 케이스의 홈에 끼웁니다.**
   O링은 다음과 같은 사항에 주의해서 홈에 고르게 끼우십시오.
   - O링이 더럽지 않은지 확인하십시오.
   - O링이 비틀리지 않았는지 확인하십시오.(그림 C 참조)

O링을 확인하는 방법

케이스에 기기를 장착하기 전에 케이스를 닫고 약 15 cm 깊이의 물 속에 약 3분간 담가두고 물이 새지 않는지 확인하십시오.

손질법

O링의 홈에 바닷물이 남은 상태로 케이스를 건조시키면 소금이 결정화되어 O링의 기능이 저하될 염려가 있습니다.

O링의 사용 수명

O링의 사용 수명은 케이스의 사용 빈도와 조건에 따라 달라집니다. 일반적으로는 약 1년입니다.
O링이 갈라지거나 손상되지 않은 경우라도 변형되거나 마모되면 방수 기능이 저하됩니다. O링에 갈라짐, 구부러짐, 비틀림, 작은 터짐, 흠집, 모래 박힘 등이 있을 때에는 새 것으로 교체하십시오.
교체한 후에는 물이 새지 않는지 확인하십시오.

습기방지 렌즈 용액

유리 표면에 부속된 습기방지 렌즈 용액을 바르십시오. 습기를 방지하는 효과가 있습니다.

- 습기방지 렌즈 용액의 사용 방법
  앞 유리에 용액을 2, 3방울 떨어뜨리고 면봉이나 부드러운 헝겊, 티슈 페이퍼로 골고루 펴 바르십시오.

O링 및 습기방지 렌즈 용액

O링과 습기방지 렌즈 용액은 가까운 Sony 판매점에서 구입하실 수 있습니다.
O링(모델 No. 4-116-279-01)
습기방지 렌즈 용액(모델 No. 3-072-039-01)

손질법

- 바닷바람이 있는 장소에서 촬영한 후에는 커버를 닫은 채 케이스를 담수에 넣고 깨끗이 닦아서 염분이나 모래 등을 제거하고 마른 부드러운 헝겊으로 닦아내십시오.
- 케이스에 선탠 오일 등이 묻었을 때에는 반드시 미지근한 물로 깨끗이 닦아내십시오.
- 케이스 내부는 마른 부드러운 헝겊으로 닦아내십시오. 케이스 내부는 물로 닦지 마십시오.

케이스는 사용할 때마다 반드시 상기의 손질을 해 놓으십시오. 알코올이나 벤진, 시너 등의 용제는 케이스의 표면이 손상될 염려가 있으므로 사용하지 마십시오.

케이스를 보관할 때에는

- 케이스의 커버는 O링이 마모되는 것을 방지하기 위해 닫지 마십시오.
- O링에 먼지가 끼지 않도록 방지해 놓으십시오.
- 케이스가 손상될 염려가 있으므로 저온이나 고온 다습한 장소에 보관하거나 나프탈린이나 장뇌 등과 함께 보관하지 마십시오.

고장일까? 하고 생각되면

증상	원인/대책
케이스 내부에 물방울이 있다.	• O링에 흠집이나 갈라짐이 있습니다. → O링을 새 것으로 교체하십시오. • O링이 바르게 끼워져 있지 않습니다. → O링을 홈에 고르게 끼우십시오. • 커버가 완전히 닫히지 않았습니다. → 닫히는 소리가 날 때까지 커버를 닫으십시오.
촬영 기능이 작동하지 않는다.	• 배터리팩이 소모되어 있습니다. → 배터리팩을 완전히 충전하십시오. • "Memory Stick Duo"가 가득 차 있습니다. → 다른 "Memory Stick Duo"를 넣거나 "Memory Stick Duo"에서 필요 없는 데이터를 소거하십시오. • "Memory Stick Duo"의 쓰기 금지 탭이 LOCK로 세트되어 있습니다. → 쓰기 금지 탭을 촬영 위치로 세트하거나 새 "Memory Stick Duo"를 넣으십시오.

عربي

تنبيهات احتياطية

- لا تعرض الزجاج الأمامي لصدمة قوية لئلا يتشقق.
- تجنب فتح الحافظة الرياضية قرب الماء أو عليه. عمليات التحضير مثل تركيب كاميرا الصور الساكنة الرقمية وتغيير شريحة "Memory Stick Duo" ينبغي تنفيذها داخل مبنى بوجود رطوبة منخفضة.
- لا تعمد إلى إلقاء الحافظة الرياضية في الماء.
- تجنب استعمال الحافظة الرياضية في الحالات التالية:
  - في مكان شديد الحرارة أو الرطوبة.
  - في ماء تزيد درجة حرارته عن 40 درجة مئوية.
  - في درجة حرارة تقل عن صفر درجة مئوية.

  في تلك الحالات يمكن أن تتكاثف الرطوبة أو يتسرب الماء ويتلف الجهاز.
- استعمل الحافظة الرياضية لمدة لا تزيد عن 30 دقيقة في المرة الواحدة في درجات الحرارة التي تزيد عن 35 درجة مئوية.
- احرص على عدم سقوط كاميرا الصور الساكنة الرقمية عند إخراجها أو وضعها في الحافظة الرياضية.
- لا تترك الحافظة الرياضية تحت أشعة الشمس المباشرة في مكان شديد الحرارة والرطوبة لفترة زمنية طويلة. إذا لم تستطع تجنب ترك الحافظة الرياضية تحت أشعة الشمس المباشرة فتأكد من تغطية الحافظة بمنشفة أو أي شيء آخر لحمايتها.
- كاميرا الصور الساكنة الرقمية تسخن إذا تم استعمالها وهي داخل الحافظة الرياضية لفترة زمنية طويلة. قبل إخراج كاميرا الصور الساكنة الرقمية من الحافظة الرياضية اترك الحافظة في الظل أو في مكان آخر بارد لبعض الوقت لتنخفض درجة حرارتها.
- لا تستعمل الحافظة الرياضية على عمق يتجاوز 1.5 م.

إذا تلطخت الحافظة الرياضية بزيت الوقاية من أشعة الشمس فتأكد من غسلها بالماء الفاتر لإزالة الزيت تمامًا.
إذا ترك زيت الوقاية من أشعة الشمس على جسم الحافظة فقد يفقد سطح الحافظة الرياضية لونه أو يتلف (كأن يتشقق السطح).

تسرب الماء

إذا حدث وأن تسرب الماء إلى الداخل، توقف فورًا عن تعريض الحافظة الرياضية للماء.
إذا تعرضت كاميرا الصور الساكنة الرقمية للبلل، خذها إلى أقرب موزع لمنتجات سوني Sony على الفور.
تكاليف إصلاحها يجب أن يتحملها العميل.

التعامل مع الحلقة الدائرية

ما هي الحلقة الدائرية؟

الحلقة الدائرية Ⓐ تضمن خصائص التحصين ضد الماء للحافظة الرياضية أو الأجهزة الأخرى. (راجع الشكل التوضيحي A)

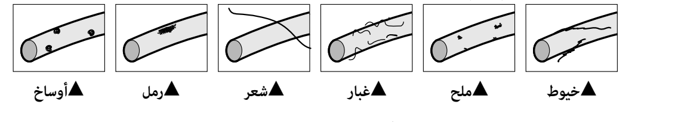
صيانة الحلقة الدائرية أمر شديد الأهمية. الفشل في القيام بصيانة الحلقة الدائرية طبقًا للتعليمات يمكن أن يؤدي إلى تسرب الماء ويتسبب في غرق الحافظة الرياضية.

التعامل مع الحلقة الدائرية

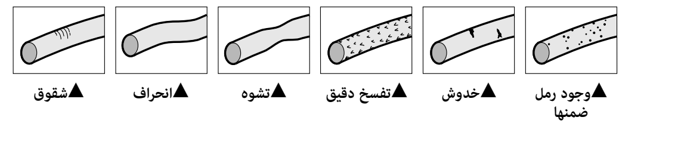
تركيب الحلقة الدائرية

تجنب تركيب الحلقة الدائرية في الأماكن التي يوجد فيها غبار أو رمل.

1. **انزع الحلقة الدائرية Ⓑ. (راجع الشكل التوضيحي B)**
   - لنزع الحلقة الدائرية اضغط عليها برفق واسحبها باتجاه السهم كما هو مبين بالشكل التوضيحي. يوجد بالحلقة الدائرية حيز كاف يُمكّن من نزعها بسهولة.
     احرص على عدم خدش الحلقة الدائرية بأظافرك.
   - لا تستعمل جسمًا مدببًا أو معدنيًا لنزع الحلقة الدائرية. يمكن لمثل هذا الجسم أن يخدش أو يتلف شق الحافظة الرياضية أو الحلقة الدائرية.
2. **تفقد الحلقة الدائرية.**
   - افحص جيدًا بحثًا عن الأمور التالية. وإذا وجدت، امسحها لإزالتها باستعمال قطعة قماش ناعمة أو منديل ورقي.
     - هل يوجد أي أوساخ أو رمل أو شعر أو غبار أو ملح أو خيوط الخ على الحلقة الدائرية؟
     - هل يوجد أي شحم قديم على الحلقة الدائرية؟



   - مرر إصبعك برفق حول الحلقة الدائرية بحثًا عن أي أوساخ غير مرئية.
   - احرص على عدم ترك أي من نسيج القماش أو المناديل الورقية على الحلقة الدائرية بعد مسحها.
   - افحص الحلقة الدائرية من حيث التشقق والانحراف والتشوه والتفسخ الدقيق والخدوش واحتوائها على رمال الخ. استبدل الحلقة الدائرية إذا كان بها شقوق أو خدوش.



3. **تفقد الشق الخاص بالحلقة الدائرية.**
   يمكن لحبيبات الرمل أو الملح المتصلب أن تدخل في الشق أحيانًا. قم بإزالتها بعناية عن طريق النفخ بواسطة نافخة هواء أو عن طريق مسحها بالقطن الطبي. احرص على عدم ترك أي من نسيج القطن الطبي بداخلها.
4. **تفقد سطح التلامس على الجهة الأخرى من الحلقة الدائرية بنفس الطريقة.**
5. **قم بتركيب الحلقة الدائرية في شق الحافظة الرياضية.**
   قم بتركيب الحلقة الدائرية بشكل منتظم في الشق مع الانتباه على النقاط التالية:
   - افحص بحثًا عن أوساخ على الحلقة الدائرية.
   - تحقق من عدم التواء الحلقة الدائرية. (راجع الشكل التوضيحي C)

كيفية تفحص الحلقة الدائرية

قبل وضع الجهاز في الحقيبة، قم بإغلاقها واغمرها في الماء حتى عمق 15 سم تقريبًا لمدة حوالي 3 دقائق وتحقق من عدم تسرب المياه إلى داخلها.

الصيانة

إذا تركت الحافظة الرياضية لتجف مع بقاء ماء البحر في شق الحلقة الدائرية فستتكون بلورات من الملح التي يمكن أن تعطل وظائف الحلقة الدائرية.

عمر خدمة الحلقة الدائرية

يتفاوت عمر خدمة الحلقة الدائرية تبعًا لمدى تكرار استعمال الحافظة الرياضية وتبعًا للظروف. وبشكل عام يبلغ عمرها سنة واحدة تقريبًا.
حتى لو لم تتعرض الحلقة الدائرية للشقوق أو الخدوش، فإن التشوه والإهتراء كفيلان بتقليل خصائصها في التحصين ضد الماء. استبدل الحلقة الدائرية بأخرى جديدة إذا وجدت شقوقًا أو انحرافًا أو تشوهًا أو تفسخًا دقيقًا أو خدوشًا أو إذا كانت تحتوي على رمل الخ.
بعد الاستبدال تحقق من عدم تسرب أي ماء إلى داخلها.

محلول العدسة المانع لتكون الضباب

قم بطلاء سطح الزجاج بمحلول العدسة المانع لتكون الضباب المرفق. هذا فعال في منع تكون الضباب.

- كيفية استعمال محلول العدسة المانع لتكون الضباب
  امسح داخل الزجاج الأمامي باستعمال ممسحة رطبة أو قطعة قماش رطبة أو منديل ورقي مبلل بسائل التنظيف بشكل منتظم.

الحلقة الدائرية ومحلول العدسة المانع لتكون الضباب

يمكنك الحصول على الحلقة الدائرية ومحلول العدسة المانع لتكون الضباب من أقرب موزع سوني Sony لديك.
حلقة دائرية (موديل رقم 4-116-279-01)
محلول عدسة مانع لتكون الضباب (موديل رقم 3-072-039-01)

الصيانة

- بعد التسجيل في مكان يحتوي على نسيم البحر، اغسل الحافظة الرياضية جيدًا بالماء العذب مع إغلاق الغطاء وذلك لإزالة الملح والرمل ثم امسحها باستعمال قطعة قماش جافة وناعمة.
- إذا تلطخت الحافظة الرياضية بزيت الوقاية من الشمس، فتأكد من غسلها بالماء الفاتر لإزالة الزيت تمامًا.
- قم بتنظيف الحافظة الرياضية من الداخل بإستعمال قطعة قماش جافة وناعمة. لا تعمد إلى غسل الحافظة الرياضية من الداخل.

تأكد من تنفيذ عملية الصيانة أعلاه كلما استعملت الحافظة الرياضية. لا تستعمل أي نوع من المذيبات مثل الكحول أو البنزين أو الثنر للتنظيف لأن ذلك يمكن أن يتلف طلاء سطح الحافظة الرياضية.

عند تخزين الحافظة الرياضية

- لا تعمد إلى إغلاق غطاء الحافظة الرياضية لمنع اهتراء الحلقة الدائرية.
- لا تدع الغبار يتجمع على الحلقة الدائرية.
- تجنب تخزين الحافظة الرياضية في مكان بارد أو شديد الحرارة أو الرطوبة أو في مكان واحد مع النفتالين أو الكافور، لأن مثل هذه الظروف يمكن أن تتلف الوحدة.

تحري الخلل وإصلاحه

الأعراض	السبب/الإجراء التصحيحي
توجد قطرات ماء داخل الحافظة الرياضية.	• هناك خدوش أو شقوق في الحلقة الدائرية. ← استبدل الحلقة الدائرية بأخرى جديدة. • الحلقة الدائرية غير موضوعة في مكانها بطريقة صحيحة. ← ضع الحلقة الدائرية في الشق بشكل منتظم. • الغطاء غير مقفول بإحكام. ← أغلق الغطاء إلى أن يصدر عنه صوت طقة.
وظيفة التسجيل لا تعمل.	• نفذت شحنة البطارية القابلة للشحن. ← اشحن البطارية القابلة للشحن بالكامل. • شريحة "Memory Stick Duo" ممتلئة. ← ادخل شريحة "Memory Stick Duo" أخرى أو امسح البيانات التي لا تحتاج إليها من على شريحة "Memory Stick Duo". • لسان الحماية ضد الكتابة على شريحة "Memory Stick Duo" مضبوط على وضع القفل LOCK. ← اضبط اللسان على موضع التسجيل أو أدخل شريحة "Memory Stick Duo" جديدة.